

令和 6 年 度
第 3 回
徳 島 県 最 低 賃 金 専 門 部 会

日 時 令和 6 年 8 月 9 日 (金)
午後 3 時 00 分～

場 所 徳島地方合同庁舎 6 階会議室
徳島市徳島町城内 6-6

徳 島 労 働 局

次 第

1 徳島県最低賃金改正審議について

2 その他

<メモ>

資 料 目 次

資料番号・資料名	頁
1 主要統計資料 追補版	1
2 ほくとしんきん中小企業景況レポート	19
3 求人募集賃金・求職者希望賃金情報	37
4 徳島経済レポート	45
5 要請書	57

主要統計資料(追補版)

目次

1 総合指数	1
2 「中央最低賃金審議会 目安に関する小委員会」において用いられた資料のうち、都道府県別データが示されているもの	
(1) 1人当たり県民所得	2
(2) 4人世帯の標準生計費 月額	3
(3) 新規学卒者(高卒)の所定内給与額【男性】(産業計、企業規模10人以上)	4
(4) 新規学卒者(高卒)の所定内給与額【女性】(産業計、企業規模10人以上)	5
(5) 有効求人倍率	6
(6) 失業率	7
(7) 定期給与	8
(8) パートタイム労働者の1求人票あたりの募集賃金平均額	9
(9) パートタイム労働者の1求人票あたりの募集賃金下限額	10
(10) 消費者物価地域差指数(都道府県下全域)	11
(11) 1月あたりの消費支出額(総世帯)	12
(12) 1月あたりの消費支出額(総世帯のうち勤労者世帯)	13
3 その他資料	
(1) 県民所得・県民雇用者報酬	14
(2) 県民所得・企業所得	15
(3) 企業所得・雇用者報酬	16

1 総合指数

「中央最低賃金審議会目安制度の在り方に関する全員協議会報告」（令和5年4月6日中央最低賃金審議会了承）において、各都道府県の経済実態とみなしてA～Cのランクへの振り分けを行うために用いられた数値。

順位	都道府県	総合指数（東京：100）	R5最賃額（円）	ランク
1	東京	100.0	1,113	A
2	神奈川	89.2	1,112	A
3	大阪	86.6	1,064	A
4	愛知	86.4	1,027	A
5	千葉	83.7	1,026	A
6	兵庫	82.1	1,001	B
7	埼玉	81.7	1,028	A
8	京都	81.2	1,008	B
9	茨城	80.7	953	B
10	静岡	80.5	984	B
11	富山	80.5	948	B
12	広島	80.3	970	B
13	滋賀	80.2	967	B
14	栃木	79.6	954	B
15	群馬	79.4	935	B
16	宮城	78.9	923	B
18	三重	78.6	973	B
17	山梨	78.6	938	B
20	福岡	78.4	941	B
19	石川	78.4	933	B
21	香川	78.1	918	B
22	岡山	77.4	932	B
23	福井	77.3	931	B
24	奈良	76.9	936	B
25	山口	76.9	928	B
27	北海道	76.8	960	B
26	長野	76.8	948	B
28	岐阜	76.1	950	B
29	徳島	75.4	896	B
30	福島	74.6	900	B
31	新潟	74.3	931	B
32	和歌山	74.0	929	B
33	愛媛	73.4	897	B
34	島根	73.0	904	B
35	大分	72.4	899	C
36	熊本	72.2	898	C
37	山形	72.0	900	C
38	佐賀	71.6	900	C
39	長崎	71.5	898	C
40	岩手	71.4	893	C
41	高知	71.1	897	C
42	鳥取	71.0	900	C
43	秋田	69.7	897	C
44	鹿児島	69.6	897	C
45	宮崎	69.2	897	C
46	青森	69.0	898	C
47	沖縄	68.5	896	C

2 「中央最低賃金審議会 目安に関する小委員会」において用いられた資料のうち、都道府県別データが示されているもの

(1) 1人当たり県民所得（内閣府「県民経済計算」2020年）

順位	都道府県	1人当たり県民所得（千円）	指数（東京100）	R5最賃額（円）	ランク
1	東京	5,214	100.0	1,113	A
2	愛知	3,428	65.7	1,027	A
3	福井	3,182	61.0	931	B
4	栃木	3,132	60.1	954	B
5	富山	3,120	59.8	948	B
6	静岡	3,110	59.6	984	B
7	茨城	3,098	59.4	953	B
8	滋賀	3,097	59.4	967	B
9	徳島	3,013	57.8	896	B
10	千葉	2,988	57.3	1,026	A
11	山梨	2,982	57.2	938	B
12	広島	2,969	56.9	970	B
13	神奈川	2,961	56.8	1,112	A
14	山口	2,960	56.8	928	B
15	三重	2,948	56.5	973	B
16	群馬	2,937	56.3	935	B
17	埼玉	2,890	55.4	1,028	A
18	兵庫	2,887	55.4	1,001	B
19	岐阜	2,875	55.1	950	B
20	山形	2,843	54.5	900	C
21	福島	2,833	54.3	900	B
22	大阪	2,830	54.3	1,064	A
23	宮城	2,803	53.8	923	B
24	長野	2,788	53.5	948	B
25	新潟	2,784	53.4	931	B
26	石川	2,770	53.1	933	B
27	鳥根	2,768	53.1	904	B
28	香川	2,766	53.0	918	B
29	和歌山	2,751	52.8	929	B
30	京都	2,745	52.6	1,008	B
31	北海道	2,682	51.4	960	B
32	岩手	2,666	51.1	893	C
33	岡山	2,665	51.1	932	B
34	青森	2,633	50.5	898	C
35	福岡	2,630	50.4	941	B
36	大分	2,604	49.9	899	C
37	秋田	2,583	49.5	897	C
38	佐賀	2,575	49.4	900	C
39	奈良	2,501	48.0	936	B
40	熊本	2,498	47.9	898	C
41	高知	2,491	47.8	897	C
42	長崎	2,483	47.6	898	C
43	愛媛	2,471	47.4	897	B
44	鹿児島	2,408	46.2	897	C
45	鳥取	2,313	44.4	900	C
46	宮崎	2,289	43.9	897	C
47	沖縄	2,167	41.6	896	C

2 「中央最低賃金審議会 目安に関する小委員会」において用いられた資料のうち、都道府県別データが示されているもの
 (2) 4人世帯の標準生計費 月額 (都道府県人事委員会「給与勧告」(参考資料)2023年4月)

順位	都道府県	標準生計費(円)	指数(東京:100)	R5最賃額(円)	ランク
1	石川	278,070	108.6	933	B
2	京都	277,200	108.2	1,008	B
3	三重	270,730	105.7	973	B
4	北海道	267,850	104.6	960	B
5	栃木	260,316	101.6	954	B
6	神奈川	256,830	100.3	1,112	A
7	東京	256,100	100.0	1,113	A
8	富山	255,341	99.7	948	B
9	千葉	251,980	98.4	1,026	A
10	大阪	240,790	94.0	1,064	A
11	福岡	240,430	93.9	941	B
12	熊本	238,377	93.1	898	C
13	埼玉	233,690	91.2	1,028	A
14	兵庫	229,370	89.6	1,001	B
15	奈良	227,970	89.0	936	B
16	青森	225,930	88.2	898	C
17	広島	224,440	87.6	970	B
18	大分	223,820	87.4	899	C
19	滋賀	223,040	87.1	967	B
20	群馬	221,110	86.3	935	B
21	静岡	219,306	85.6	984	B
22	高知	213,780	83.5	897	C
23	山梨	212,910	83.1	938	B
24	岐阜	212,040	82.8	950	B
25	宮城	210,870	82.3	923	B
26	福島	210,780	82.3	900	B
27	鳥根	209,980	82.0	904	B
28	岩手	209,260	81.7	893	C
29	佐賀	207,440	81.0	900	C
30	岡山	204,530	79.9	932	B
31	山形	202,550	79.1	900	C
32	長野	201,370	78.6	948	B
33	徳島	199,730	78.0	896	B
34	愛知	198,800	77.6	1,027	A
35	和歌山	198,058	77.3	929	B
36	茨城	196,568	76.8	953	B
37	長崎	196,180	76.6	898	C
38	香川	195,092	76.2	918	B
39	山口	193,641	75.6	928	B
40	新潟	193,140	75.4	931	B
41	秋田	190,273	74.3	897	C
42	沖縄	183,080	71.5	896	C
43	鹿児島	182,980	71.4	897	C
44	福井	180,540	70.5	931	B
45	宮崎	173,960	67.9	897	C
46	鳥取	170,600	66.6	900	C
47	愛媛	138,810	54.2	897	B

2 「中央最低賃金審議会 目安に関する小委員会」において用いられた資料のうち、都道府県別データが示されているもの
 (3) 新規学卒者(高卒)の所定内給与額【男性】(産業計、企業規模10人以上)
 (厚生労働省「賃金構造基本統計調査」2023年)

順位	都道府県	所定内給与額(千円)	指数(東京=100)	R5最賃額(円)	ランク
1	三重	213.7	109.2	973	B
2	埼玉	202.5	103.5	1,028	A
3	京都	201.6	103.0	1,008	B
4	滋賀	199.7	102.0	967	B
5	広島	199.1	101.7	970	B
6	神奈川	196.5	100.4	1,112	A
7	群馬	196.1	100.2	935	B
8	東京	195.7	100.0	1,113	A
9	山梨	193.4	98.8	938	B
10	兵庫	192.4	98.3	1,001	B
11	静岡	192.3	98.3	984	B
12	栃木	191.1	97.6	954	B
13	千葉	190.6	97.4	1,026	A
14	福岡	190.4	97.3	941	B
14	大分	190.4	97.3	899	C
16	大阪	189.1	96.6	1,064	A
17	奈良	189.0	96.6	936	B
18	富山	188.6	96.4	948	B
19	宮城	188.0	96.1	923	B
19	石川	188.0	96.1	933	B
21	福井	187.6	95.9	931	B
21	山口	187.6	95.9	928	B
23	愛知	187.0	95.6	1,027	A
24	茨城	186.9	95.5	953	B
25	岡山	185.6	94.8	932	B
26	愛媛	184.5	94.3	897	B
27	香川	184.1	94.1	918	B
28	福島	183.9	94.0	900	B
29	徳島	183.4	93.7	896	B
30	長野	182.6	93.3	948	B
31	鹿児島	181.8	92.9	897	C
32	岐阜	181.2	92.6	950	B
33	岩手	180.9	92.4	893	C
34	新潟	180.6	92.3	931	B
34	佐賀	180.6	92.3	900	C
36	和歌山	179.3	91.6	929	B
37	宮崎	178.7	91.3	897	C
38	青森	177.4	90.6	898	C
39	熊本	177.2	90.5	898	C
40	鳥取	176.3	90.1	900	C
41	北海道	175.9	89.9	960	B
42	高知	175.3	89.6	897	C
43	山形	175.1	89.5	900	C
44	島根	174.8	89.3	904	B
45	長崎	173.3	88.6	898	C
46	秋田	172.1	87.9	897	C
47	沖縄	160.0	81.8	896	C

2 「中央最低賃金審議会 目安に関する小委員会」において用いられた資料のうち、都道府県別データが示されているもの
 (4) 新規学卒者(高卒)の所定内給与額【女性】(産業計、企業規模10人以上)
 (厚生労働省「賃金構造基本統計調査」2023年)

順位	都道府県	所定内給与額(千円)	指数(東京=100)	R5最賃額(円)	ランク
1	神奈川	225.7	124.2	1,112	A
2	京都	203.6	112.1	1,008	B
3	大阪	199.6	109.9	1,064	A
4	埼玉	196.3	108.0	1,028	A
5	滋賀	195.0	107.3	967	B
6	千葉	190.5	104.8	1,026	A
7	鹿児島	188.6	103.8	897	C
8	兵庫	187.6	103.2	1,001	B
9	香川	187.2	103.0	918	B
10	石川	185.7	102.2	933	B
11	長野	185.3	102.0	948	B
12	奈良	184.8	101.7	936	B
13	山梨	184.7	101.7	938	B
14	静岡	184.3	101.4	984	B
14	徳島	184.3	101.4	896	B
14	和歌山	184.3	101.4	929	B
17	福井	184.2	101.4	931	B
18	富山	183.8	101.2	948	B
19	愛知	183.7	101.1	1,027	A
19	三重	183.7	101.1	973	B
21	福島	183.3	100.9	900	B
22	東京	181.7	100.0	1,113	A
23	岐阜	180.1	99.1	950	B
24	群馬	179.4	98.7	935	B
25	広島	179.3	98.7	970	B
26	宮城	178.9	98.5	923	B
27	茨城	178.8	98.4	953	B
27	沖縄	178.8	98.4	896	C
29	山口	178.5	98.2	928	B
30	栃木	178.4	98.2	954	B
31	岩手	178.0	98.0	893	C
32	熊本	177.6	97.7	898	C
33	岡山	177.3	97.6	932	B
34	福岡	177.0	97.4	941	B
35	山形	176.1	96.9	900	C
36	高知	174.1	95.8	897	C
37	島根	173.3	95.4	904	B
38	北海道	171.7	94.5	960	B
39	大分	170.0	93.6	899	C
40	新潟	168.7	92.8	931	B
41	青森	164.7	90.6	898	C
42	愛媛	163.6	90.0	897	B
43	鳥取	163.5	90.0	900	C
44	宮崎	162.0	89.2	897	C
45	秋田	161.8	89.0	897	C
46	佐賀	160.8	88.5	900	C
47	長崎	157.1	86.5	898	C

2 「中央最低賃金審議会 目安に関する小委員会」において用いられた資料のうち、都道府県別データが示されているもの
 (5) 有効求人倍率(厚生労働省「職業安定業務統計」2023年)

順位	都道府県	有効求人倍率(単位:倍)	R5最賃額(円)	ランク
1	福井	1.94	931	B
2	山口	1.72	928	B
3	島根	1.70	904	B
4	富山	1.66	948	B
5	岐阜	1.65	950	B
6	茨城	1.60	953	B
6	香川	1.60	918	B
8	長野	1.59	948	B
8	鳥取	1.59	900	C
10	山形	1.58	900	C
11	新潟	1.57	931	B
11	大分	1.57	899	C
13	佐賀	1.56	900	C
14	岡山	1.54	932	B
15	三重	1.53	973	B
16	群馬	1.52	935	B
16	石川	1.52	933	B
18	福島	1.51	900	B
18	秋田	1.51	897	C
20	山梨	1.50	938	B
20	愛媛	1.50	897	B
22	熊本	1.49	898	C
23	宮崎	1.48	897	C
24	広島	1.43	970	B
25	長崎	1.38	898	C
26	宮城	1.37	923	B
27	岩手	1.36	893	C
28	滋賀	1.35	967	B
29	静岡	1.34	984	B
30	愛知	1.33	1,027	A
30	奈良	1.33	936	B
32	徳島	1.32	896	B
32	鹿児島	1.32	897	C
34	青森	1.31	898	C
35	栃木	1.29	954	B
36	和歌山	1.25	929	B
37	千葉	1.23	1,026	A
37	京都	1.23	1,008	B
39	高知	1.20	897	C
40	東京	1.18	1,113	A
40	埼玉	1.18	1,028	A
42	兵庫	1.16	1,001	B
42	福岡	1.16	941	B
42	沖縄	1.16	896	C
45	北海道	1.14	960	B
46	神奈川	1.11	1,112	A
47	大阪	1.10	1,064	A

新規学卒者を除き、パートタイムを含んでいる。

各都道府県における有効求人倍率は、求人票に記載された就業場所で集計した就業地別の数値である。

2 「中央最低賃金審議会 目安に関する小委員会」において用いられた資料のうち、都道府県別データが示されているもの
 (6) 失業率(総務省統計局「労働力調査都道府県別調査結果(モデル推計値)」2023年)

順位	都道府県	失業率(単位: %)	R5最賃額(円)	ランク
1	佐賀	1.3	900	C
2	福井	1.4	931	B
3	山口	1.6	928	B
4	三重	1.7	973	B
4	島根	1.7	904	B
4	山形	1.7	900	C
7	富山	1.8	948	B
7	岐阜	1.8	950	B
9	石川	1.9	933	B
9	徳島	1.9	896	B
9	愛媛	1.9	897	B
9	長崎	1.9	898	C
13	愛知	2.0	1,027	A
13	広島	2.0	970	B
13	群馬	2.0	935	B
13	山梨	2.0	938	B
13	香川	2.0	918	B
13	長野	2.0	948	B
13	大分	2.0	899	C
13	高知	2.0	897	C
13	鳥取	2.0	900	C
22	静岡	2.1	984	B
22	岡山	2.1	932	B
22	新潟	2.1	931	B
22	和歌山	2.1	929	B
26	鹿児島	2.2	897	C
27	滋賀	2.3	967	B
27	岩手	2.3	893	C
29	栃木	2.4	954	B
29	奈良	2.4	936	B
29	福島	2.4	900	B
29	熊本	2.4	898	C
33	東京	2.5	1,113	A
33	千葉	2.5	1,026	A
33	京都	2.5	1,008	B
33	茨城	2.5	953	B
33	秋田	2.5	897	C
38	兵庫	2.6	1,001	B
39	埼玉	2.7	1,028	A
39	福岡	2.7	941	B
39	宮崎	2.7	897	C
42	北海道	2.8	960	B
43	神奈川	2.9	1,112	A
43	青森	2.9	898	C
45	宮城	3.0	923	B
46	大阪	3.2	1,064	A
47	沖縄	3.3	896	C

数値は、労働力調査の結果を都道府県別にモデルによって推計した値。(北海道、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、沖縄県は比推定によって推計)
 都道府県別に表章するように標本設計を行っておらず(北海道、沖縄を除く)、標本規模も小さいことから、標本誤差が大きく、利用に際して注意が必要。
 毎年1～3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの過去5年間の四半期平均及び年平均結果を遡って一部改訂している。

2 「中央最低賃金審議会 目安に関する小委員会」において用いられた資料のうち、都道府県別データが示されているもの
 (7) 定期給与(厚生労働省「毎月勤労統計調査地方調査」2023年)

順位	都道府県	定期給与(円)	指数(東京:100)	R5最賃額(円)	ランク
1	東京	344,041	100.0	1,113	A
2	愛知	285,759	83.1	1,027	A
3	大阪	277,642	80.7	1,064	A
4	神奈川	277,323	80.6	1,112	A
5	群馬	266,787	77.5	935	B
6	栃木	262,289	76.2	954	B
7	茨城	266,071	77.3	953	B
8	広島	261,807	76.1	970	B
9	静岡	261,385	76.0	984	B
10	三重	260,405	75.7	973	B
11	福岡	255,023	74.1	941	B
12	兵庫	254,873	74.1	1,001	B
13	富山	253,324	73.6	948	B
14	長野	252,743	73.5	948	B
15	千葉	252,202	73.3	1,026	A
16	岡山	251,383	73.1	932	B
17	宮城	250,838	72.9	923	B
18	山梨	250,496	72.8	938	B
19	福井	248,490	72.2	931	B
20	滋賀	248,362	72.2	967	B
21	香川	248,280	72.2	918	B
22	山口	248,181	72.1	928	B
23	北海道	247,305	71.9	960	B
24	山形	247,304	71.9	900	C
25	和歌山	247,214	71.9	929	B
26	福島	246,752	71.7	900	B
27	石川	246,036	71.5	933	B
28	岐阜	245,579	71.4	950	B
29	埼玉	245,539	71.4	1,028	A
30	京都	245,148	71.3	1,008	B
31	新潟	245,053	71.2	931	B
32	徳島	244,457	71.1	896	B
33	愛媛	242,441	70.5	897	B
34	大分	242,209	70.4	899	C
35	岩手	239,030	69.5	893	C
36	島根	238,481	69.3	904	B
37	熊本	236,996	68.9	898	C
38	秋田	235,573	68.5	897	C
39	高知	230,372	67.0	897	C
40	青森	227,669	66.2	898	C
41	佐賀	227,037	66.0	900	C
42	長崎	224,509	65.3	898	C
43	鹿児島	224,419	65.2	897	C
44	宮崎	223,818	65.1	897	C
45	鳥取	221,845	64.5	900	C
46	奈良	221,483	64.4	936	B
47	沖縄	216,848	63.0	896	C

事業所規模5人以上の数値である。

2 「中央最低賃金審議会 目安に関する小委員会」において用いられた資料のうち、都道府県別データが示されているもの
 (8) パートタイム労働者の1求人票あたりの募集賃金平均額(厚生労働省「職業安定業務統計」2023年)

順位	都道府県	募集賃金平均額(単位:円)	R5最賃額(円)	ランク
1	神奈川	1,303	1,112	A
2	東京	1,267	1,113	A
3	大阪	1,218	1,064	A
4	千葉	1,210	1,026	A
5	埼玉	1,208	1,028	A
6	愛知	1,206	1,027	A
7	兵庫	1,187	1,001	B
8	京都	1,173	1,008	B
9	静岡	1,156	984	B
10	奈良	1,138	936	B
11	茨城	1,130	953	B
12	滋賀	1,129	967	B
12	三重	1,129	973	B
14	栃木	1,125	954	B
15	福岡	1,118	941	B
16	山梨	1,107	938	B
17	岐阜	1,102	950	B
18	群馬	1,100	935	B
19	広島	1,096	970	B
20	富山	1,095	948	B
20	徳島	1,095	896	B
22	沖縄	1,087	896	C
23	和歌山	1,086	929	B
24	宮城	1,084	923	B
24	北海道	1,084	960	B
26	長野	1,080	948	B
27	香川	1,078	918	B
28	石川	1,074	933	B
28	岡山	1,074	932	B
28	福井	1,074	931	B
31	山口	1,071	928	B
32	熊本	1,065	898	C
33	新潟	1,061	931	B
34	愛媛	1,050	897	B
35	福島	1,040	900	B
36	大分	1,038	899	C
37	鳥取	1,037	900	C
38	島根	1,036	904	B
38	佐賀	1,036	900	C
40	高知	1,035	897	C
41	鹿児島	1,031	897	C
42	長崎	1,027	898	C
42	宮崎	1,027	897	C
44	山形	1,021	900	C
45	岩手	1,008	893	C
46	秋田	1,007	897	C
47	青森	990	898	C

公共職業安定所で受理したパートタイム労働者の求人票に記載された時給の平均を算出。なお、時給制以外のものについては、時給換算額を算出に用いている。
 常用的雇用(雇用契約で雇用期間の定めがないか又は4か月以上の雇用期間が定められているもの(季節労働を除く。))のパートタイム労働者を対象としている。
 1求人当たり1募集賃金として算出。なお、求人票には募集賃金の上限と下限を記載することになっており、その平均額を1募集賃金として算出している。

- 2 「中央最低賃金審議会 目安に関する小委員会」において用いられた資料のうち、都道府県別データが示されているもの
 (9) パートタイム労働者の1求人票あたりの募集賃金下限額(厚生労働省「職業安定業務統計」2023年)

順位	都道府県	募集賃金下限額(単位:円)	R5最賃額(円)	ランク
1	神奈川	1,231	1,112	A
2	東京	1,209	1,113	A
3	大阪	1,163	1,064	A
4	千葉	1,151	1,026	A
5	埼玉	1,145	1,028	A
6	兵庫	1,130	1,001	B
7	愛知	1,127	1,027	A
8	京都	1,113	1,008	B
9	静岡	1,096	984	B
10	奈良	1,078	936	B
11	滋賀	1,076	967	B
12	三重	1,072	973	B
13	茨城	1,070	953	B
14	栃木	1,066	954	B
15	福岡	1,053	941	B
16	広島	1,049	970	B
17	岐阜	1,045	950	B
18	富山	1,043	948	B
18	山梨	1,043	938	B
18	北海道	1,043	960	B
21	群馬	1,041	935	B
22	宮城	1,034	923	B
23	和歌山	1,033	929	B
24	長野	1,030	948	B
25	徳島	1,029	896	B
25	沖縄	1,029	896	C
27	山口	1,024	928	B
28	石川	1,023	933	B
29	岡山	1,022	932	B
30	福井	1,021	931	B
31	香川	1,019	918	B
32	新潟	1,012	931	B
33	熊本	1,009	898	C
34	愛媛	1,001	897	B
35	福島	995	900	B
35	高知	995	897	C
37	大分	994	899	C
38	鳥取	993	900	C
39	佐賀	989	900	C
40	島根	988	904	B
41	長崎	985	898	C
42	鹿児島	984	897	C
43	宮崎	982	897	C
44	山形	974	900	C
45	秋田	968	897	C
46	岩手	963	893	C
47	青森	956	898	C

公共職業安定所で受理したパートタイム労働者の求人票に記載された時給の平均を算出。なお、時給制以外のものについては、時給換算額を算出に用いている。
 常用的雇用(雇用契約で雇用期間の定めがないか又は4か月以上の雇用期間が定められているもの(季節労働を除く。))のパートタイム労働者を対象としている。
 1求人当たり1募集賃金として算出。なお、求人票には募集賃金の上限と下限を記載することになっており、その平均額を1募集賃金として算出している。

2 「中央最低賃金審議会 目安に関する小委員会」において用いられた資料のうち、都道府県別データが示されているもの
 (10) 消費者物価地域差指数(都道府県下全域)(総務省「小売物価統計調査(構造編)」2023年)

順位	都道府県	指数(全国平均:100)	R5最賃額(円)	ランク
1	東京	104.5	1,113	A
2	神奈川	103.1	1,112	A
3	北海道	101.7	960	B
4	千葉	101.5	1,026	A
5	山形	101.2	900	C
6	京都	100.8	1,008	B
7	埼玉	100.4	1,028	A
8	島根	100.1	904	B
9	高知	100.0	897	C
10	宮城	99.9	923	B
11	山口	99.7	928	B
11	岩手	99.7	893	C
13	沖縄	99.6	896	C
14	石川	99.4	933	B
15	大阪	99.3	1,064	A
15	滋賀	99.3	967	B
15	福島	99.3	900	B
18	兵庫	99.1	1,001	B
18	三重	99.1	973	B
18	福井	99.1	931	B
21	熊本	98.9	898	C
21	秋田	98.9	897	C
23	富山	98.8	948	B
23	広島	98.8	970	B
23	徳島	98.8	896	B
23	長崎	98.8	898	C
23	鳥取	98.8	900	C
28	和歌山	98.6	929	B
28	青森	98.6	898	C
30	愛知	98.5	1,027	A
30	静岡	98.5	984	B
32	愛媛	98.4	897	B
33	新潟	98.2	931	B
34	岡山	98.1	932	B
35	茨城	98.0	953	B
36	長野	97.9	948	B
37	山梨	97.8	938	B
37	香川	97.8	918	B
39	栃木	97.6	954	B
40	佐賀	97.5	900	C
41	岐阜	97.2	950	B
42	福岡	97.1	941	B
42	奈良	97.1	936	B
44	大分	97.0	899	C
45	群馬	96.4	935	B
46	宮崎	96.1	897	C
47	鹿児島	95.9	897	C

指数は「総合」である。なお、消費者物価地域差指数における「総合」は、持家の帰属家賃を含まない。

2 「中央最低賃金審議会 目安に関する小委員会」において用いられた資料のうち、都道府県別データが示されているもの
 (11) 1月あたりの消費支出額(総世帯)(総務省「家計調査」2023年)

順位	都道府県	消費支出額(単位:円)	等価消費支出額(単位:円)	R5最賃額(円)	ランク
1	東京	279,319	189,614	1,113	A
2	埼玉	255,697	186,486	1,028	A
3	福島	261,274	185,212	900	B
4	三重	281,715	182,609	973	B
5	神奈川	263,825	181,625	1,112	A
6	栃木	280,396	180,995	954	B
7	大分	252,847	180,146	899	C
8	徳島	253,435	180,108	896	B
9	岐阜	269,015	179,343	950	B
10	長野	262,284	178,876	948	B
11	茨城	261,988	178,260	953	B
12	京都	247,571	177,289	1,008	B
13	富山	264,541	177,150	948	B
14	奈良	262,528	176,197	936	B
15	滋賀	250,989	174,030	967	B
16	岡山	249,763	173,179	932	B
17	福岡	245,679	172,859	941	B
18	愛知	254,012	172,435	1,027	A
19	広島	240,977	170,396	970	B
20	静岡	232,366	169,470	984	B
21	群馬	252,685	169,210	935	B
22	北海道	244,480	169,110	960	B
23	新潟	241,794	166,065	931	B
24	岩手	245,926	165,803	893	C
25	石川	265,079	165,352	933	B
26	千葉	208,876	165,131	1,026	A
27	宮城	223,996	163,366	923	B
28	香川	232,989	163,125	918	B
29	鹿児島	238,439	162,237	897	C
30	兵庫	221,983	161,898	1,001	B
31	山形	235,685	161,489	900	C
32	高知	232,139	161,348	897	C
33	島根	225,273	161,321	904	B
34	秋田	228,649	158,922	897	C
35	宮崎	229,687	158,499	897	C
36	福井	234,708	157,882	931	B
37	山梨	223,439	157,211	938	B
38	山口	215,452	155,489	928	B
39	大阪	222,395	154,950	1,064	A
40	佐賀	208,851	154,387	900	C
41	熊本	215,310	153,793	898	C
42	和歌山	225,446	150,970	929	B
43	長崎	225,799	150,533	898	C
44	鳥取	206,405	148,574	900	C
45	沖縄	207,763	146,182	896	C
46	青森	212,623	145,687	898	C
47	愛媛	200,072	130,236	897	B

「順位」は「等価消費支出額」に係るものである。

各都道府県の数値は都道府県庁所在地のものである。

「等価消費支出額」は、「消費支出額」を「世帯人員」の平方根で除して算出。

2 「中央最低賃金審議会 目安に関する小委員会」において用いられた資料のうち、都道府県別データが示されているもの
 (12) 1月あたりの消費支出額(総世帯のうち勤労者世帯)(総務省「家計調査」2023年)

順位	都道府県	消費支出額(単位:円)	等価消費支出額(単位:円)	R5最賃額(円)	ランク
1	京都	341,844	210,390	1,008	B
2	三重	330,179	196,968	973	B
3	大分	282,243	196,172	899	C
4	東京	302,955	195,557	1,113	A
5	栃木	324,973	194,906	954	B
6	神奈川	287,940	190,276	1,112	A
7	埼玉	275,676	190,235	1,028	A
8	岐阜	302,080	189,542	950	B
9	福島	277,321	189,131	900	B
10	北海道	294,841	187,224	960	B
11	徳島	283,974	186,038	896	B
12	奈良	303,167	185,884	936	B
13	茨城	295,271	183,119	953	B
14	富山	286,790	182,851	948	B
15	群馬	297,513	182,761	935	B
16	長野	287,871	182,066	948	B
17	宮城	258,889	180,377	923	B
18	福岡	261,880	179,017	941	B
19	千葉	241,371	178,427	1,026	A
20	石川	307,423	177,491	933	B
21	宮崎	279,399	177,062	897	C
22	岩手	290,513	176,801	893	C
23	香川	260,254	176,672	918	B
24	愛知	262,325	176,459	1,027	A
25	滋賀	265,738	176,377	967	B
26	静岡	250,593	175,450	984	B
27	山梨	265,863	174,925	938	B
28	岡山	277,839	172,975	932	B
29	新潟	277,479	171,755	931	B
30	山形	257,493	171,662	900	C
31	秋田	272,867	171,212	897	C
32	島根	250,556	170,088	904	B
33	広島	246,310	167,593	970	B
34	鳥取	250,393	166,559	900	C
35	兵庫	233,980	165,864	1,001	B
36	和歌山	272,151	165,626	929	B
37	長崎	279,109	165,621	898	C
38	高知	249,942	165,166	897	C
39	大阪	247,376	163,829	1,064	A
40	福井	269,852	163,622	931	B
41	青森	248,362	161,670	898	C
42	熊本	255,933	161,543	898	C
43	鹿児島	258,121	161,326	897	C
44	佐賀	233,008	161,175	900	C
45	山口	251,284	159,565	928	B
46	沖縄	228,194	155,990	896	C
47	愛媛	229,230	134,841	897	B

「順位」は「等価消費支出額」に係るものである。

各都道府県の数値は都道府県庁所在地のものである。

「等価消費支出額」は、「消費支出額」を「世帯人員」の平方根で除して算出。

3 その他資料

(1) 県民所得・県民雇用者報酬(内閣府「県民経済計算」2020年)

順位	都道府県	県民所得(100万円)	県民雇用者報酬(100万円)	県民雇用者報酬/県民所得	R5最賃額(円)	ランク
1	福岡県	13,504,933	11,030,876	0.82	941	B
2	神奈川県	27,354,352	22,258,667	0.81	1,112	A
3	大阪府	25,007,562	20,188,086	0.81	1,064	A
4	千葉県	18,774,890	14,994,545	0.80	1,026	A
5	石川県	3,137,513	2,477,358	0.79	933	B
6	埼玉県	21,228,355	16,504,146	0.78	1,028	A
7	長崎県	3,258,910	2,518,890	0.77	898	C
8	広島県	8,312,168	6,361,136	0.77	970	B
9	長野県	5,710,416	4,353,844	0.76	948	B
10	沖縄県	3,179,860	2,422,276	0.76	896	C
11	岡山県	5,033,198	3,827,680	0.76	932	B
12	宮崎県	2,448,276	1,843,673	0.75	897	C
13	宮城県	6,452,135	4,855,498	0.75	923	B
14	香川県	2,628,812	1,978,058	0.75	918	B
15	北海道	14,011,490	10,488,929	0.75	960	B
16	兵庫県	15,775,060	11,799,941	0.75	1,001	B
17	岐阜県	5,688,594	4,235,563	0.74	950	B
18	大分県	2,926,445	2,164,533	0.74	899	C
19	愛媛県	3,297,907	2,427,080	0.74	897	B
20	新潟県	6,128,271	4,477,500	0.73	931	B
21	愛知県	25,857,505	18,754,245	0.73	1,027	A
22	福井県	2,440,488	1,760,909	0.72	931	B
23	熊本県	4,341,641	3,122,732	0.72	898	C
24	鳥取県	1,280,301	917,425	0.72	900	C
25	三重県	5,219,509	3,739,781	0.72	973	B
26	奈良県	3,312,742	2,362,258	0.71	936	B
27	京都府	7,077,197	5,037,899	0.71	1,008	B
28	茨城県	8,882,258	6,274,643	0.71	953	B
29	福島県	5,192,935	3,631,652	0.70	900	B
30	富山県	3,228,647	2,240,027	0.69	948	B
31	群馬県	5,695,425	3,931,660	0.69	935	B
32	佐賀県	2,089,822	1,436,529	0.69	900	C
33	滋賀県	4,378,638	2,997,581	0.68	967	B
34	栃木県	6,054,511	4,141,368	0.68	954	B
35	島根県	1,857,670	1,268,862	0.68	904	B
36	山梨県	2,415,384	1,647,076	0.68	938	B
37	静岡県	11,298,478	7,689,849	0.68	984	B
38	鹿児島県	3,824,743	2,601,222	0.68	897	C
39	岩手県	3,227,228	2,178,228	0.67	893	C
40	高知県	1,722,911	1,155,017	0.67	897	C
41	秋田県	2,478,173	1,659,203	0.67	897	C
42	山形県	3,036,349	2,032,615	0.67	900	C
43	青森県	3,259,418	2,090,183	0.64	898	C
44	山口県	3,973,132	2,502,061	0.63	928	B
45	徳島県	2,167,982	1,298,519	0.60	896	B
46	和歌山県	2,538,381	1,479,927	0.58	929	B
47	東京都	73,249,471	39,594,523	0.54	1,113	A

3 その他資料

(2) 県民所得・企業所得(内閣府「県民経済計算」2020年)

順位	都道府県	県民所得(100万円)	企業所得(100万円)	企業所得/県民所得	R5最賃額(円)	ランク
1	和歌山県	2,538,381	948,468	0.37	929	B
2	東京都	73,249,471	25,103,637	0.34	1,113	A
3	徳島県	2,167,982	741,667	0.34	896	B
4	青森県	3,259,418	997,308	0.31	898	C
5	山口県	3,973,132	1,214,145	0.31	928	B
6	山梨県	2,415,384	658,220	0.27	938	B
7	秋田県	2,478,173	665,461	0.27	897	C
8	岩手県	3,227,228	863,946	0.27	893	C
9	栃木県	6,054,511	1,618,775	0.27	954	B
10	山形県	3,036,349	803,673	0.26	900	C
11	鹿児島県	3,824,743	1,012,048	0.26	897	C
12	高知県	1,722,911	453,387	0.26	897	C
13	静岡県	11,298,478	2,867,135	0.25	984	B
14	滋賀県	4,378,638	1,091,253	0.25	967	B
15	島根県	1,857,670	458,715	0.25	904	B
16	群馬県	5,695,425	1,388,277	0.24	935	B
17	富山県	3,228,647	783,200	0.24	948	B
18	茨城県	8,882,258	2,115,876	0.24	953	B
19	福島県	5,192,935	1,226,767	0.24	900	B
20	佐賀県	2,089,822	485,592	0.23	900	C
21	三重県	5,219,509	1,209,733	0.23	973	B
22	鳥取県	1,280,301	292,415	0.23	900	C
23	京都府	7,077,197	1,615,631	0.23	1,008	B
24	熊本県	4,341,641	968,769	0.22	898	C
25	福井県	2,440,488	534,528	0.22	931	B
26	奈良県	3,312,742	712,320	0.22	936	B
27	愛知県	25,857,505	5,521,219	0.21	1,027	A
28	宮崎県	2,448,276	517,614	0.21	897	C
29	新潟県	6,128,271	1,291,738	0.21	931	B
30	北海道	14,011,490	2,836,971	0.20	960	B
31	大分県	2,926,445	591,228	0.20	899	C
32	愛媛県	3,297,907	657,146	0.20	897	B
33	岐阜県	5,688,594	1,120,749	0.20	950	B
34	宮城県	6,452,135	1,249,827	0.19	923	B
35	兵庫県	15,775,060	2,995,781	0.19	1,001	B
36	岡山県	5,033,198	891,132	0.18	932	B
37	長崎県	3,258,910	574,637	0.18	898	C
38	広島県	8,312,168	1,464,300	0.18	970	B
39	香川県	2,628,812	458,928	0.17	918	B
40	長野県	5,710,416	979,598	0.17	948	B
41	埼玉県	21,228,355	3,451,890	0.16	1,028	A
42	沖縄県	3,179,860	496,203	0.16	896	C
43	千葉県	18,774,890	2,667,663	0.14	1,026	A
44	石川県	3,137,513	436,364	0.14	933	B
45	福岡県	13,504,933	1,662,098	0.12	941	B
46	大阪府	25,007,562	3,056,654	0.12	1,064	A
47	神奈川県	27,354,352	3,083,861	0.11	1,112	A

3 その他資料

(3) 企業所得・雇員報酬 (内閣府「県民経済計算」2020年)

順位	都道府県	企業所得(100万円)	雇員報酬(100万円)	雇員報酬 /(企業所得+雇員報酬)	R5最賃額(円)	ランク
1	神奈川県	3,083,861	22,258,667	0.88	1,112	A
2	福岡県	1,662,098	11,030,876	0.87	941	B
3	大阪府	3,056,654	20,188,086	0.87	1,064	A
4	石川県	436,364	2,477,358	0.85	933	B
5	千葉県	2,667,663	14,994,545	0.85	1,026	A
6	沖縄県	496,203	2,422,276	0.83	896	C
7	埼玉県	3,451,890	16,504,146	0.83	1,028	A
8	長野県	979,598	4,353,844	0.82	948	B
9	長崎県	574,637	2,518,890	0.81	898	C
10	広島県	1,464,300	6,361,136	0.81	970	B
11	香川県	458,928	1,978,058	0.81	918	B
12	岡山県	891,132	3,827,680	0.81	932	B
13	兵庫県	2,995,781	11,799,941	0.80	1,001	B
14	宮城県	1,249,827	4,855,498	0.80	923	B
15	岐阜県	1,120,749	4,235,563	0.79	950	B
16	北海道	2,836,971	10,488,929	0.79	960	B
17	愛媛県	657,146	2,427,080	0.79	897	B
18	大分県	591,228	2,164,533	0.79	899	C
19	宮崎県	517,614	1,843,673	0.78	897	C
20	新潟県	1,291,738	4,477,500	0.78	931	B
21	愛知県	5,521,219	18,754,245	0.77	1,027	A
22	奈良県	712,320	2,362,258	0.77	936	B
23	福井県	534,528	1,760,909	0.77	931	B
24	熊本県	968,769	3,122,732	0.76	898	C
25	鳥取県	292,415	917,425	0.76	900	C
26	京都府	1,615,631	5,037,899	0.76	1,008	B
27	三重県	1,209,733	3,739,781	0.76	973	B
28	茨城県	2,115,876	6,274,643	0.75	953	B
29	福島県	1,226,767	3,631,652	0.75	900	B
30	佐賀県	485,592	1,436,529	0.75	900	C
31	富山県	783,200	2,240,027	0.74	948	B
32	群馬県	1,388,277	3,931,660	0.74	935	B
33	島根県	458,715	1,268,862	0.73	904	B
34	滋賀県	1,091,253	2,997,581	0.73	967	B
35	静岡県	2,867,135	7,689,849	0.73	984	B
36	鹿児島県	1,012,048	2,601,222	0.72	897	C
37	栃木県	1,618,775	4,141,368	0.72	954	B
38	高知県	453,387	1,155,017	0.72	897	C
39	山形県	803,673	2,032,615	0.72	900	C
40	岩手県	863,946	2,178,228	0.72	893	C
41	山梨県	658,220	1,647,076	0.71	938	B
42	秋田県	665,461	1,659,203	0.71	897	C
43	青森県	997,308	2,090,183	0.68	898	C
44	山口県	1,214,145	2,502,061	0.67	928	B
45	徳島県	741,667	1,298,519	0.64	896	B
46	東京都	25,103,637	39,594,523	0.61	1,113	A
47	和歌山県	948,468	1,479,927	0.61	929	B

ほくとしんきん中小企業景況レポート

(第 87 回)

令和 6 年 4~6 月期実績／令和 6 年 7~9 月期見通し 特別調査「中小企業における災害等への対応について」

- 調査時点：令和 6 年 6 月上旬
- 調査方法：原則として当金庫職員による聞き取り調査
- 地区区分：丹後地区（宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町）、舞鶴地区（舞鶴市）、
福知山・綾部地区（福知山市、綾部市、京丹波町）
- 依頼数：570 先
- 回答数：546 先（回答率 95.8%）
- 分析方法：各質問項目について、「増加（良い）」－「減少（悪い）」の構成比の差。
業況判断 D. I. (Diffusion Index) に基づく分析。
- 地区別・業種別回答数

業 種	丹後地区	舞鶴地区	福知山・綾部地区	全地区
製 造 業	62	26	43	131
卸 売 業	16	14	24	54
小 売 業	46	30	53	129
サービス業	40	31	33	104
建 設 業	27	28	47	102
不 動 産 業	6	10	10	26
合 計	197	139	210	546

令和 6 年 7 月
京都北都信用金庫
経営企画部 経営企画課

1. 概要

■ 京都府北部の業況判断 D. I. の推移（業種別・地区別）

調査時期	R5. 6	9	12	R6. 3	6	前期比	来期予想
全地区（京都府北部）	△ 27. 2	△ 26. 1	△ 19. 1	△ 28. 7	△ 25. 5	3. 2	△ 28. 8
製造業	△ 26. 2	△ 26. 9	△ 22. 2	△ 38. 5	△ 32. 8	5. 7	△ 34. 4
卸売業	△ 32. 1	△ 34. 5	△ 24. 1	△ 47. 3	△ 31. 5	15. 8	△ 51. 9
小売業	△ 39. 4	△ 32. 8	△ 31. 0	△ 43. 0	△ 26. 4	16. 6	△ 35. 7
サービス業	△ 21. 0	△ 19. 2	△ 6. 7	△ 19. 2	△ 20. 2	△ 1. 0	△ 12. 5
建設業	△ 24. 0	△ 22. 6	△ 13. 9	△ 3. 9	△ 20. 6	△ 16. 7	△ 19. 6
不動産業	4. 0	△ 11. 5	△ 4. 0	△ 4. 0	△ 11. 5	△ 7. 5	△ 20. 0
丹後地区	△ 19. 7	△ 19. 6	△ 16. 1	△ 33. 3	△ 28. 4	4. 9	△ 22. 8
舞鶴地区	△ 31. 9	△ 31. 0	△ 21. 4	△ 29. 8	△ 22. 3	7. 5	△ 42. 0
福知山・綾部地区	△ 31. 1	△ 28. 9	△ 20. 4	△ 23. 6	△ 24. 8	△ 1. 2	△ 25. 7
日銀短観(全国)	8. 0	10. 0	13. 0	12. 0	12. 0	0. 0	10. 0
日銀短観(京滋)	9. 0	5. 0	11. 0	9. 0	9. 0	0. 0	8. 0
信金中金(全国)	△ 7. 4	△ 7. 0	△ 3. 3	△ 9. 3	△ 7. 8	1. 5	△ 6. 5

- 京都府北部の今期（令和6年6月期）の業況判断 D. I. は、前期比 3.2 ポイント上昇の△25.5 となりました。
- 業種別では、製造業、卸売業、小売業が改善し、なかでも小売業は同 16.6 ポイント上昇の△26.4 となりました。
- 地区別では、丹後、舞鶴地区が改善し、なかでも舞鶴地区は同 7.5 ポイント上昇の△22.3 となりました。
- 信金中央金庫（全国）の業況判断 D. I. は、同 1.5 ポイント上昇の△7.8 となり、当金庫調査の業況判断 D. I. を 17.7 ポイント上回りました。
- 京都府北部の来期（令和6年9月期）の予想業況判断 D. I. は、今期実績比 3.3 ポイント低下の△28.8 とやや悪化する見通しです。

■ 丹後地区の業況判断 D. I. の推移（業種別）

調査時期	R5. 6	9	12	R6. 3	6	前期比	来期予想
丹後地区	△ 19. 7	△ 19. 6	△ 16. 1	△ 33. 3	△ 28. 4	4. 9	△ 22. 8
製造業	△ 11. 5	△ 19. 4	△ 22. 4	△ 35. 0	△ 30. 6	4. 4	△ 24. 2
卸売業	△ 37. 5	△ 13. 3	△ 20. 0	△ 68. 8	△ 37. 5	31. 3	△ 50. 0
小売業	△ 29. 8	△ 19. 1	△ 11. 1	△ 42. 2	△ 23. 9	18. 3	△ 28. 3
サービス業	△ 12. 2	△ 9. 8	0. 0	△ 15. 0	△ 20. 0	△ 5. 0	△ 5. 0
建設業	△ 18. 5	△ 32. 1	△ 32. 1	△ 21. 4	△ 40. 7	△ 19. 3	△ 25. 9
不動産業	△ 33. 3	△ 50. 0	△ 16. 7	△ 33. 3	△ 16. 7	16. 6	0. 0

- 丹後地区の今期の業況判断D. I. は、前期比 4.9 ポイント上昇の△28.4 となりました。
- 業種別では、製造業、卸売業、小売業、不動産業が改善し、なかでも卸売業は同31.3 ポイント上昇の△37.5となりました。

■ 舞鶴地区の業況判断D. I. の推移（業種別）

調査時期	R5.6	9	12	R6.3	6	前期比	来期予想
舞鶴地区	△ 31.9	△ 31.0	△ 21.4	△ 29.8	△ 22.3	7.5	△ 42.0
製造業	△ 35.7	△ 48.2	△ 29.6	△ 40.8	△ 34.6	6.2	△ 65.4
卸売業	△ 43.8	△ 73.3	△ 26.7	△ 46.7	△ 28.6	18.1	△ 57.1
小売業	△ 50.0	△ 36.7	△ 46.7	△ 46.7	△ 26.7	20.0	△ 56.7
サービス業	△ 28.1	△ 21.9	△ 9.4	△ 45.2	△ 19.4	25.8	△ 22.6
建設業	△ 21.4	△ 3.6	7.4	17.9	△ 3.6	△ 21.5	△ 14.3
不動産業	10.0	△ 10.0	△ 33.3	△ 10.0	△ 30.0	△ 20.0	△ 55.6

- 舞鶴地区の今期の業況判断D. I. は、前期比 7.5 ポイント上昇の△22.3 となりました。
- 業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業が改善し、なかでもサービス業は同 25.8 ポイント上昇の△19.4 となりました。

■ 福知山・綾部地区の業況判断D. I. の推移（業種別）

調査時期	R5.6	9	12	R6.3	6	前期比	来期予想
福知山・綾部地区	△ 31.1	△ 28.9	△ 20.4	△ 23.6	△ 24.8	△ 1.2	△ 25.7
製造業	△ 41.5	△ 24.4	△ 17.1	△ 41.9	△ 34.9	7.0	△ 30.2
卸売業	△ 20.8	△ 24.0	△ 25.0	△ 33.3	△ 29.2	4.1	△ 50.0
小売業	△ 41.8	△ 43.1	△ 38.9	△ 41.5	△ 28.3	13.2	△ 30.2
サービス業	△ 25.0	△ 29.0	△ 12.9	0.0	△ 21.2	△ 21.2	△ 12.1
建設業	△ 28.9	△ 28.3	△ 15.2	△ 6.5	△ 19.2	△ 12.7	△ 19.2
不動産業	22.2	10.0	30.0	22.2	10.0	△ 12.2	0.0

- 福知山・綾部地区の今期の業況判断D. I. は、前期比 1.2 ポイント低下の△24.8 となりました。
- 業種別では、サービス業、建設業、不動産業が悪化し、なかでもサービス業は同 21.2 ポイント低下の△21.2 となりました。

2. 京都府北部の業種別景況

① 全業種

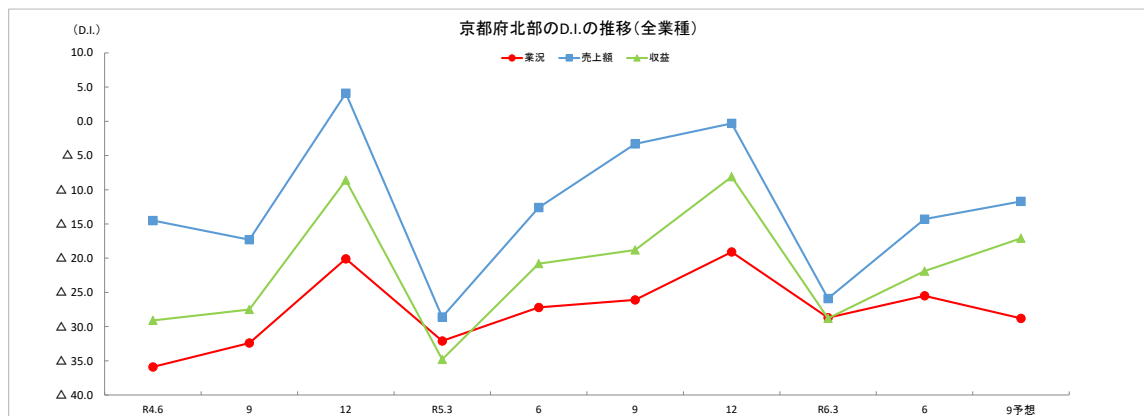
■ 全業種のD.I.の推移

調査時期	R5.6	9	12	R6.3	6	前期比	来期予想
業況※	△ 27.2	△ 26.1	△ 19.1	△ 28.7	△ 25.5	3.2	△ 28.8
売上額	△ 12.6	△ 3.3	△ 0.3	△ 25.9	△ 14.3	11.6	△ 11.7
収益	△ 20.8	△ 18.8	△ 8.1	△ 28.8	△ 21.9	6.9	△ 17.1
販売・請負価格	22.6	25.6	28.7	17.3	21.2	3.9	17.4
仕入・材料価格	59.3	59.0	54.3	47.1	55.6	8.5	47.8
在庫	2.3	0.5	2.1	0.9	2.5	1.6	△ 0.9
資金繰り	△ 17.2	△ 19.0	△ 16.6	△ 21.0	△ 17.6	3.4	△ 18.1
前年同期比売上額	△ 4.2	△ 3.9	△ 10.0	△ 16.0	△ 11.3	4.7	-
前年同期比収益	△ 16.5	△ 18.8	△ 19.7	△ 20.2	△ 17.7	2.5	-
残業時間	△ 10.9	△ 6.9	△ 0.9	△ 5.9	△ 10.8	△ 4.9	△ 5.4
人手	△ 29.1	△ 30.2	△ 34.1	△ 29.7	△ 26.1	3.6	△ 29.1
借入実施割合 (%)	17.4	19.0	20.5	21.5	18.0	△ 3.5	16.9

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成30年12月期の△8.3、最低値：平成21年6月期の△68.3

- 京都府北部の業況判断D.I.は、前期比3.2ポイント上昇の△25.5となりました。
- 売上額判断D.I.は、同11.6ポイント上昇の△14.3となりました。
- 収益判断D.I.は、同6.9ポイント上昇の△21.9となりました。
- 来期（令和6年9月期）の予想業況判断D.I.は、今期実績比3.3ポイント低下の△28.8とやや悪化する見通しです。



■ 全業種：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	48.7 (①48.0)	経費の節減	46.0 (①48.0)
原材料高	30.2 (③25.6)	人材の確保	35.5 (②34.2)
人手不足	30.0 (②34.7)	販路の拡張	34.8 (③34.0)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

② 製造業

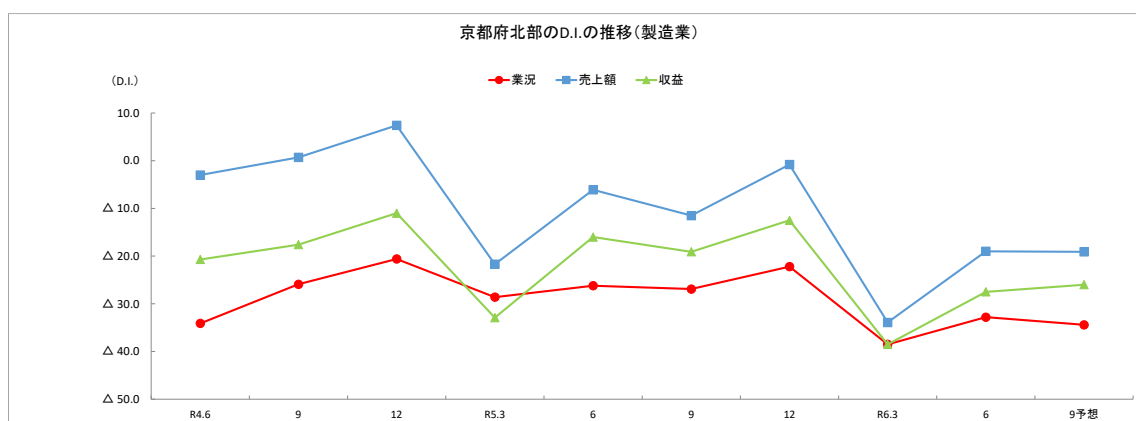
■ 製造業のD.I.の推移

調査時期	R5.6	9	12	R6.3	6	前期比	来期予想
業況※	△ 26.2	△ 26.9	△ 22.2	△ 38.5	△ 32.8	5.7	△ 34.4
売上額	△ 6.1	△ 11.5	△ 0.8	△ 33.9	△ 19.0	14.9	△ 19.1
受注残	△ 8.5	△ 13.9	△ 13.3	△ 21.7	△ 19.1	2.6	△ 19.8
収益	△ 16.0	△ 19.1	△ 12.5	△ 38.5	△ 27.5	11.0	△ 26.0
販売価格	23.9	15.5	20.4	14.0	11.6	△ 2.4	7.7
原材料価格	57.1	46.8	45.6	46.9	41.5	△ 5.4	34.4
原材料在庫	3.1	2.3	3.9	5.5	12.4	6.9	7.8
資金繰り	△ 16.9	△ 15.4	△ 14.1	△ 24.6	△ 21.4	3.2	△ 13.7
前年同期比売上額	6.9	△ 3.1	△ 5.5	△ 20.0	△ 20.6	△ 0.6	-
前年同期比収益	△ 8.4	△ 21.5	△ 17.3	△ 26.9	△ 26.0	0.9	-
残業時間	△ 14.0	△ 13.2	△ 6.3	△ 17.1	△ 16.9	0.2	△ 12.5
人手	△ 16.2	△ 17.6	△ 21.4	△ 16.3	△ 9.9	6.4	△ 12.4
借入実施割合 (%)	15.4	13.0	13.3	13.1	14.5	1.4	10.2

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成30年12月期の△2.2、最低値：令和2年6月期の△79.0

- 製造業の今期の業況判断D.I.は、前期比5.7ポイント上昇の△32.8となりました。
- 業種分類別（回答数上位3業種）では、「食料品」が同20.0ポイント上昇の20.0、「一般機械器具」が同17.6ポイント上昇の△11.8、「繊維工業」が同10.7ポイント上昇の△25.0となりました。
- 売上額判断D.I.は、同14.9ポイント上昇の△19.0となりました。
- 収益判断D.I.は、同11.0ポイント上昇の△27.5となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比1.6ポイント低下の△34.4とやや悪化する見通しです。



■ 製造業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	55.7 (①48.5)	経費の節減	48.1 (①46.9)
原材料高	48.9 (②36.9)	販路の拡張	46.6 (②45.4)
人件費の増加	22.9 (⑤17.7)	人材の確保	32.1 (③33.1)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

③ 卸売業

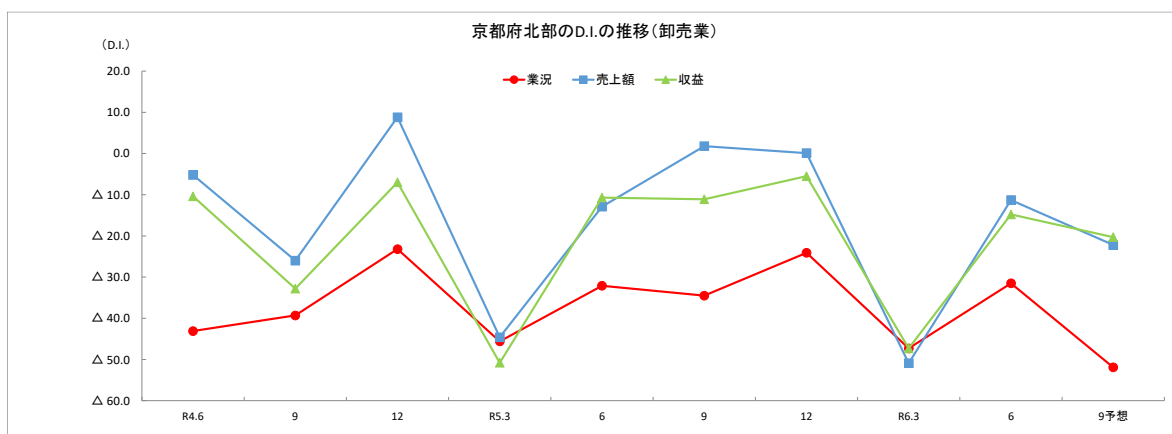
■ 卸売業のD.I.の推移

調査時期	R5. 6	9	12	R6. 3	6	前期比	来期予想
業況※	△ 32.1	△ 34.5	△ 24.1	△ 47.3	△ 31.5	15.8	△ 51.9
売上額	△ 12.9	1.8	0.1	△ 50.9	△ 11.3	39.6	△ 22.2
収益	△ 10.7	△ 11.1	△ 5.5	△ 47.3	△ 14.8	32.5	△ 20.3
販売価格	50.0	40.7	37.0	25.5	48.1	22.6	46.2
仕入価格	60.7	55.6	42.6	40.1	61.2	21.1	62.9
在庫	17.9	29.6	24.1	25.5	18.5	△ 7.0	20.3
資金繰り	△ 16.1	△ 20.4	△ 25.9	△ 27.3	△ 22.2	5.1	△ 25.9
前年同期比売上額	△ 12.5	△ 9.1	△ 7.4	△ 23.6	△ 24.5	△ 0.9	-
前年同期比収益	△ 21.4	△ 10.9	△ 22.2	△ 14.5	△ 28.3	△ 13.8	-
前年同期比販売価格	62.5	51.9	61.1	54.5	59.3	4.8	-
残業時間	△ 7.4	△ 5.8	7.5	△ 5.7	△ 5.7	0.0	△ 11.3
人手	△ 30.9	△ 14.8	△ 35.2	△ 31.5	△ 29.6	1.9	△ 27.8
借入実施割合 (%)	19.6	22.2	22.2	16.4	27.8	11.4	26.9

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成26年12月期の△10.9、最低値：令和2年6月期の△81.0

- 卸売業の今期の業況判断D.I.は、前期比15.8ポイント上昇の△31.5となりました。
- 業種分類別（回答数上位3業種）では、「建築材料」が同12.9ポイント上昇の△33.3、「食料・飲料」が同25.0ポイント上昇の△16.7、「機械器具」が同8.3ポイント低下の△33.3となりました。
- 売上額判断D.I.は、同39.6ポイント上昇の△11.3となりました。
- 収益判断D.I.は、同32.5ポイント上昇の△14.8となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比20.4ポイント低下の△51.9と悪化する見通しです。



■ 卸売業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	50.0 (①60.0)	販路の拡張	66.7 (②54.5)
同業者間の競争の激化	35.2 (③23.6)	経費の節減	42.6 (①60.0)
人手不足	31.5 (④21.8)	人材の確保	33.3 (④23.6)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

④ 小売業

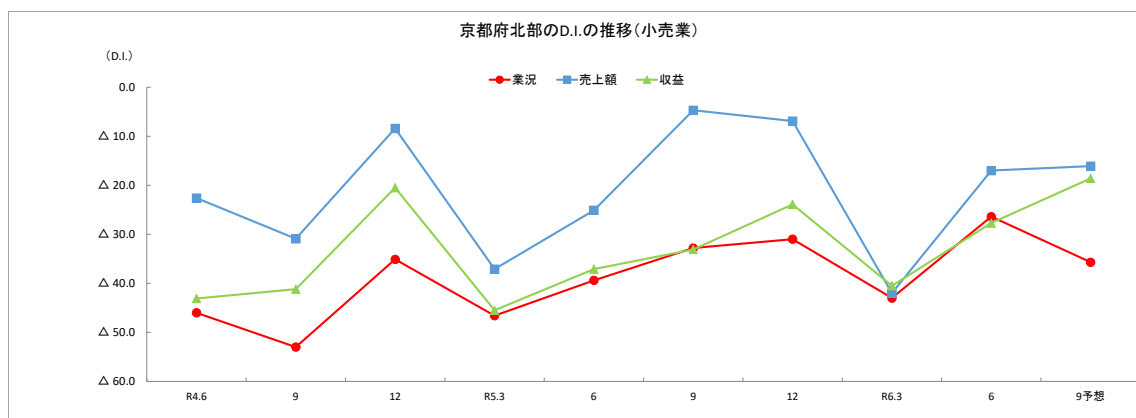
■ 小売業のD.I.の推移

調査時期	R5.6	9	12	R6.3	6	前期比	来期予想
業況※	△ 39.4	△ 32.8	△ 31.0	△ 43.0	△ 26.4	16.6	△ 35.7
売上額	△ 25.1	△ 4.7	△ 6.9	△ 42.0	△ 17.0	25.0	△ 16.1
収益	△ 37.1	△ 33.1	△ 23.9	△ 40.5	△ 27.7	12.8	△ 18.6
販売価格	25.0	42.5	49.2	32.1	36.9	4.8	26.8
仕入価格	58.9	76.6	63.7	51.0	62.3	11.3	53.5
在庫	△ 1.5	△ 4.7	△ 3.8	△ 8.4	△ 7.7	0.7	△ 9.2
資金繰り	△ 31.1	△ 29.9	△ 27.7	△ 33.3	△ 32.3	1.0	△ 30.8
前年同期比売上額	△ 9.9	0.0	△ 16.2	△ 20.2	△ 9.2	11.0	-
前年同期比収益	△ 25.2	△ 25.8	△ 33.1	△ 26.4	△ 20.8	5.6	-
前年同期比販売価格	45.0	63.8	55.4	54.3	48.5	△ 5.8	-
残業時間	△ 9.9	0.8	2.3	△ 4.6	△ 3.9	0.7	2.3
人手	△ 29.5	△ 27.2	△ 27.1	△ 26.7	△ 27.3	△ 0.6	△ 27.9
借入実施割合 (%)	13.0	14.5	18.6	17.7	10.2	△ 7.5	8.7

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：令和元年9月期の△26.1、最低値：平成21年3月期の△78.4

- 小売業の今期の業況判断D.I.は、前期比16.6ポイント上昇の△26.4となりました。
- 業種分類別（回答数上位3業種）では、「飲食料品」が同2.0ポイント上昇の△35.5、「燃料」が同4.6ポイント上昇の△50.0、「自動車・自転車」が同52.9ポイント上昇の0.0となりました。
- 売上額判断D.I.は、同25.0ポイント上昇の△17.0となりました。
- 収益判断D.I.は、同12.8ポイント上昇の△27.7となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比9.3ポイント低下の△35.7とやや悪化する見通しです。



■ 小売業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	55.0 (①57.0)	経費の節減	54.3 (①57.8)
利幅の縮小	27.9 (③23.4)	品揃えの改善	27.9 (②30.5)
人手不足	24.8 (②25.0)	人材の確保	24.0 (⑤19.5)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

⑤ サービス業

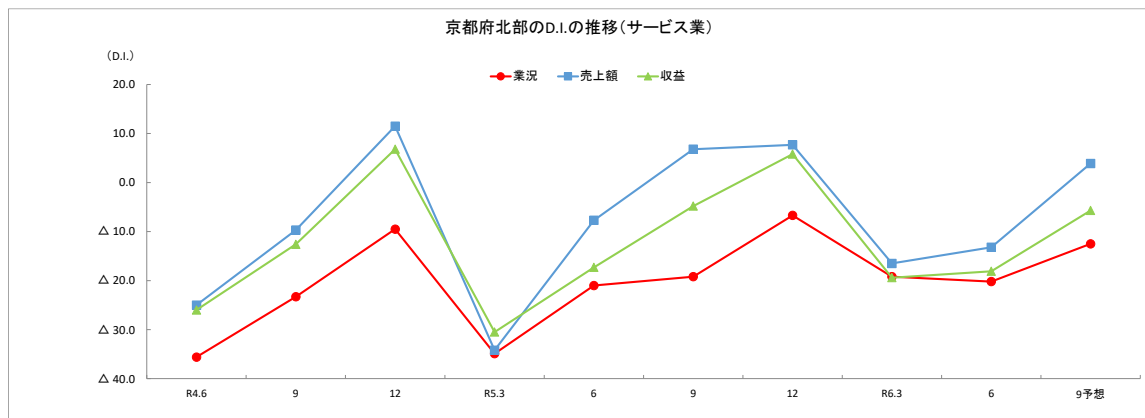
■ サービス業のD.I.の推移

調査時期	R5.6	9	12	R6.3	6	前期比	来期予想
業況※	△ 21.0	△ 19.2	△ 6.7	△ 19.2	△ 20.2	△ 1.0	△ 12.5
売上額	△ 7.7	6.8	7.7	△ 16.5	△ 13.2	3.3	3.9
収益	△ 17.3	△ 4.8	5.8	△ 19.4	△ 18.1	1.3	△ 5.7
料金価格	18.4	25.5	27.2	7.8	18.1	10.3	20.0
材料価格	61.6	65.5	62.8	48.5	60.2	11.7	47.7
資金繰り	△ 15.4	△ 14.7	△ 9.6	△ 16.5	△ 12.5	4.0	△ 15.2
前年同期比売上額	4.9	2.9	△ 3.9	△ 1.9	△ 7.6	△ 5.7	-
前年同期比収益	△ 8.7	△ 8.9	△ 7.8	△ 9.7	△ 13.3	△ 3.6	-
残業時間	1.0	0.0	4.9	0.0	△ 8.6	△ 8.6	1.0
人手	△ 35.6	△ 42.3	△ 49.0	△ 38.5	△ 27.9	10.6	△ 39.0
借入実施割合 (%)	11.8	16.3	21.2	25.5	19.2	△ 6.3	18.4

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成31年3月期の△3.9、最低値：令和2年6月期の△81.6

- サービス業の今期の業況判断D.I.は、前期比1.0ポイント低下の△20.2となりました。
- 業種分類別（回答数上位3業種）では、「旅館、その他の宿泊所」が同16.5ポイント低下の△20.0、「その他のサービス業」が同3.3ポイント低下の△30.0、「自動車整備および駐車場業」が同20.0ポイント上昇の0.0となりました。
- 売上額判断D.I.は、同3.3ポイント上昇の△13.2となりました。
- 収益判断D.I.は、同1.3ポイント上昇の△18.1となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比7.7ポイント上昇の△12.5とやや改善する見通しです。



■ サービス業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	43.3 (②42.3)	人材の確保	51.0 (①49.0)
人手不足	40.4 (①44.2)	販路の拡張	45.2 (②46.2)
材料価格の上昇	31.7 (③30.8)	経費の節減	44.2 (③44.2)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

⑥ 建設業

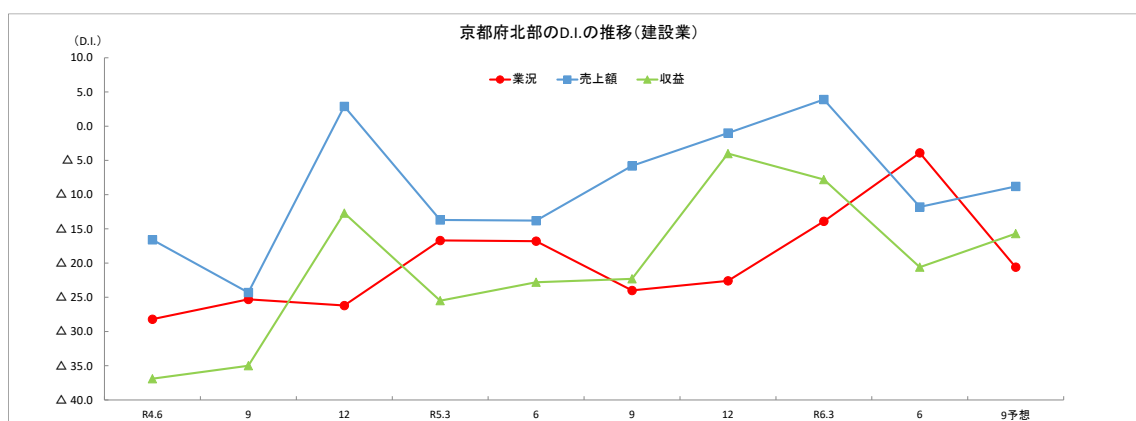
■ 建設業のD.I.の推移

調査時期	R5.6	9	12	R6.3	6	前期比	来期予想
業況※	△ 24.0	△ 22.6	△ 13.9	△ 3.9	△ 20.6	△ 16.7	△ 19.6
売上額	△ 13.8	△ 5.8	△ 1.0	3.9	△ 11.8	△ 15.7	△ 8.8
受注残	△ 23.7	△ 10.7	2.0	△ 25.5	△ 19.5	6.0	△ 7.9
施工高	△ 25.7	△ 11.7	6.9	2.9	△ 21.6	△ 24.5	△ 8.8
収益	△ 22.8	△ 22.3	△ 4.0	△ 7.8	△ 20.6	△ 12.8	△ 15.7
請負価格	10.9	13.6	19.8	11.8	6.9	△ 4.9	3.9
材料価格	74.3	59.8	62.4	55.9	66.7	10.8	57.8
在庫	2.0	0.0	1.0	1.0	1.0	0.0	△ 3.0
資金繰り	△ 7.9	△ 18.4	△ 13.9	△ 7.8	△ 2.0	5.8	△ 11.8
前年同期比売上額	△ 12.9	△ 11.7	△ 13.0	△ 16.7	△ 1.0	15.7	-
前年同期比収益	△ 21.8	△ 22.3	△ 15.0	△ 20.6	△ 5.9	14.7	-
残業時間	△ 23.8	△ 14.7	△ 5.0	1.0	△ 19.8	△ 20.8	△ 10.0
人手	△ 40.6	△ 48.5	△ 46.0	△ 44.6	△ 42.6	2.0	△ 44.6
借入実施割合 (%)	27.7	31.4	27.7	34.3	24.2	△ 10.1	25.0

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成25年12月期の15.3、最低値：平成21年6月期の△56.5

- 建設業の今期の業況判断D.I.は、前期比16.7ポイント低下の△20.6となりました。
- 請負先別（回答数上位3先）では、「官公庁」が同35.2ポイント低下の△23.3、「中小企業」が同13.3ポイント低下の△23.3、「個人」が同16.3ポイント上昇の△8.7となりました。
- 売上額判断D.I.は、同15.7ポイント低下の△11.8となりました。
- 収益判断D.I.は、同12.8ポイント低下の△20.6となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比1.0ポイント上昇の△19.6とやや改善する見通しです。



■ 建設業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
材料価格の上昇	64.7 (①54.9)	人材の確保	48.0 (①51.0)
人手不足	44.1 (②52.9)	経費の節減	43.1 (②41.2)
売上の停滞・減少	38.2 (③38.2)	販路の拡張	37.3 (③37.3)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

⑦ 不動産業

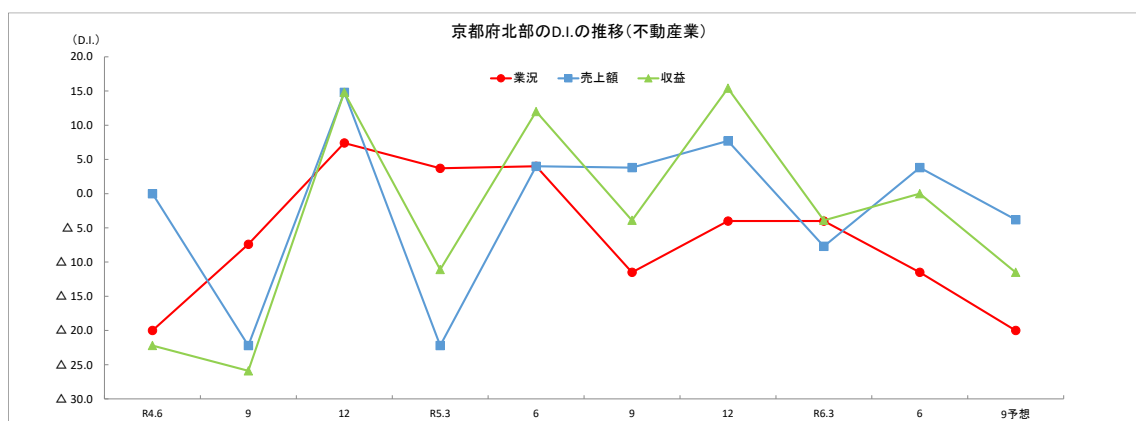
■ 不動産業のD.I.の推移

調査時期	R5.6	9	12	R6.3	6	前期比	来期予想
業況※	4.0	△ 11.5	△ 4.0	△ 4.0	△ 11.5	△ 7.5	△ 20.0
売上額	4.0	3.8	7.7	△ 7.7	3.8	11.5	△ 3.8
収益	12.0	△ 3.9	15.4	△ 3.9	0.0	3.9	△ 11.5
販売価格	4.3	8.0	△ 12.0	0.0	4.0	4.0	0.0
仕入価格	22.5	8.3	8.4	4.2	29.2	25.0	12.5
在庫	△ 17.4	△ 45.8	△ 20.8	△ 29.2	△ 25.0	4.2	△ 41.6
資金繰り	8.3	0.0	8.0	4.0	4.0	0.0	4.0
前年同期比売上額	△ 16.0	△ 11.5	△ 19.2	△ 11.5	△ 3.8	7.7	-
前年同期比収益	△ 12.0	△ 11.5	△ 23.1	△ 7.7	△ 3.8	3.9	-
残業時間	△ 4.0	△ 11.5	△ 15.4	△ 7.7	0.0	7.7	△ 3.8
人手	△ 16.0	△ 19.2	△ 23.1	△ 15.4	△ 23.1	△ 7.7	△ 19.2
借入実施割合 (%)	28.0	26.9	30.8	26.9	24.0	△ 2.9	32.0

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成27年6月期の40.7、最低値：平成21年12月期の△59.1

- 不動産業の今期の業況判断D.I.は、前期比7.5ポイント低下の△11.5となりました。
- 業種分類別（回答数上位3業種）では、「建売業・土地売買業」が同9.1ポイント低下の△9.1、「不動産代理業・仲介業」が同22.3ポイント低下の△66.7、「貸事務所・土地賃貸業」が同33.4ポイント上昇の66.7となりました。
- 売上額判断D.I.は、同11.5ポイント上昇の3.8となりました。
- 収益判断D.I.は、同3.9ポイント上昇の0.0となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比8.5ポイント低下の△20.0とやや悪化する見通しです。



■ 不動産業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	42.3 (③36.0)	情報力の強化	61.5 (①68.0)
同業者間の競争の激化	38.5 (②44.0)	宣伝・広告の強化	50.0 (②48.0)
利幅の縮小	38.5 (③36.0)	販路の拡張	30.8 (③40.0)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

3. 地区別の景況

① 丹後地区

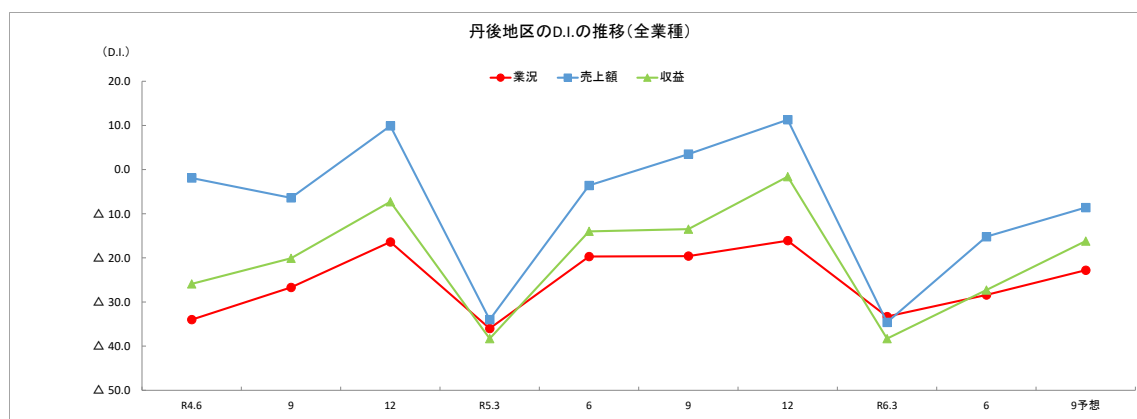
■ 丹後地区のD.I.の推移

調査時期	R5.6	9	12	R6.3	6	前期比	来期予想
業況※	△ 19.7	△ 19.6	△ 16.1	△ 33.3	△ 28.4	4.9	△ 22.8
売上額	△ 3.6	3.5	11.3	△ 34.6	△ 15.2	19.4	△ 8.6
収益	△ 14.0	△ 13.5	△ 1.6	△ 38.3	△ 27.3	11.0	△ 16.2
販売・請負価格	26.8	28.3	37.0	15.5	20.3	4.8	17.8
仕入・材料価格	58.7	60.0	56.5	46.4	51.5	5.1	46.4
在庫	7.1	0.6	3.3	2.0	2.6	0.6	2.0
資金繰り	△ 14.1	△ 15.7	△ 13.5	△ 20.6	△ 18.4	2.2	△ 19.8
前年同期比売上額	8.0	8.5	3.6	△ 12.8	△ 8.6	4.2	-
前年同期比収益	△ 6.0	△ 9.0	△ 10.4	△ 27.0	△ 22.2	4.8	-
残業時間	△ 9.7	△ 5.6	2.6	△ 3.1	△ 12.9	△ 9.8	△ 7.3
人手	△ 31.0	△ 32.5	△ 36.8	△ 29.9	△ 20.9	9.0	△ 28.6
借入実施割合 (%)	14.8	17.1	22.7	24.1	18.6	△ 5.5	15.0

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成30年12月期の△2.9、最低値：平成21年3月期の△79.5

- 丹後地区の今期の業況判断D.I.は、前期比4.9ポイント上昇の△28.4となりました。
- 売上額判断D.I.は、同19.4ポイント上昇の△15.2となりました。
- 収益判断D.I.は、同11.0ポイント上昇の△27.3となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比5.6ポイント上昇の△22.8とやや改善する見通しです。



■ 丹後地区：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	48.7 (①43.1)	経費の節減	43.1 (①44.6)
原材料高	32.5 (③25.6)	人材の確保	39.6 (②39.0)
人手不足	32.0 (②37.9)	販路の拡張	33.0 (③33.3)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

② 舞鶴地区

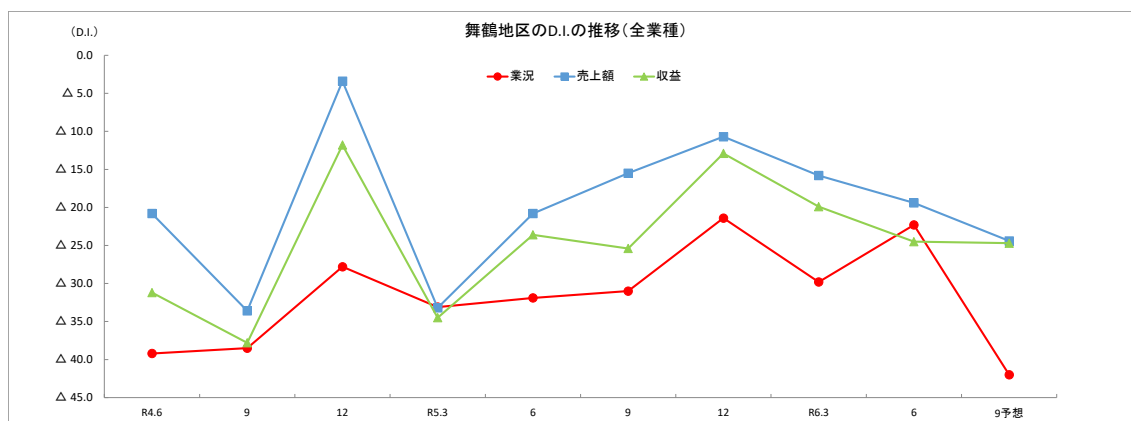
■ 舞鶴地区のD.I.の推移

調査時期	R5.6	9	12	R6.3	6	前期比	来期予想
業況※	△ 31.9	△ 31.0	△ 21.4	△ 29.8	△ 22.3	7.5	△ 42.0
売上額	△ 20.8	△ 15.5	△ 10.7	△ 15.8	△ 19.4	△ 3.6	△ 24.4
収益	△ 23.6	△ 25.4	△ 12.9	△ 19.9	△ 24.5	△ 4.6	△ 24.7
販売・請負価格	20.4	24.1	20.7	17.1	17.4	0.3	12.4
仕入・材料価格	56.4	57.5	51.1	41.1	59.5	18.4	47.1
在庫	1.8	2.8	0.9	2.8	△ 2.8	△ 5.6	△ 4.7
資金繰り	△ 23.6	△ 26.2	△ 24.8	△ 21.3	△ 21.6	△ 0.3	△ 21.6
前年同期比売上額	△ 11.8	△ 12.0	△ 21.4	△ 9.9	△ 13.7	△ 3.8	-
前年同期比収益	△ 25.7	△ 23.2	△ 21.4	△ 7.1	△ 18.0	△ 10.9	-
残業時間	△ 11.2	△ 6.4	2.9	△ 5.8	△ 7.9	△ 2.1	△ 10.8
人手	△ 29.9	△ 31.2	△ 39.0	△ 30.7	△ 30.2	0.5	△ 27.3
借入実施割合 (%)	20.1	19.1	18.4	20.0	18.8	△ 1.2	16.8

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：令和元年6月期の△12.5、最低値：令和2年6月期の△67.6

- 舞鶴地区の今期の業況判断D.I.は、前期比7.5ポイント上昇の△22.3となりました。
- 売上額判断D.I.は、同3.6ポイント低下の△19.4となりました。
- 収益判断D.I.は、同4.6ポイント低下の△24.5となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比19.7ポイント低下の△42.0と悪化する見通しです。



■ 舞鶴地区：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	50.4 (①53.9)	経費の節減	48.9 (①45.4)
原材料高	28.8 (③26.2)	販路の拡張	33.8 (②36.2)
人手不足	25.2 (②33.3)	人材の確保	30.9 (③31.2)
同業者間の競争の激化	25.2 (④24.8)	—	—

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

③ 福知山・綾部地区

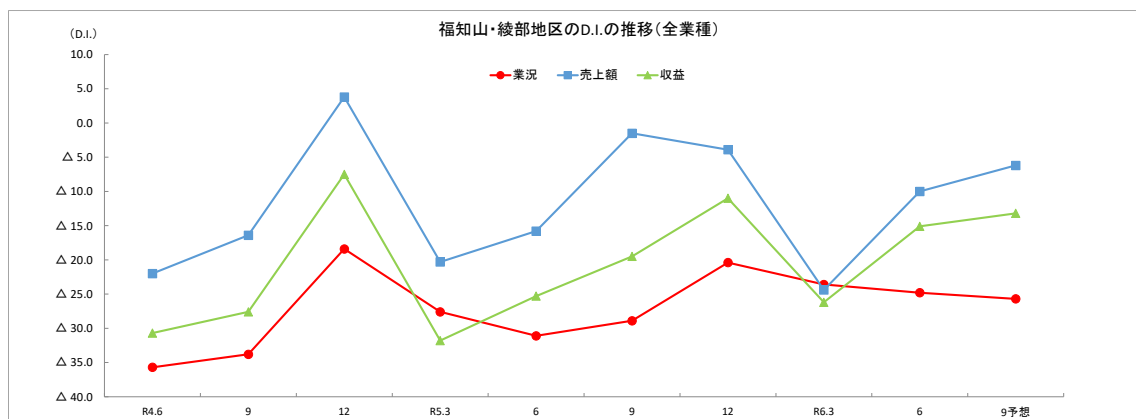
■ 福知山・綾部地区のD.I.の推移

調査時期	R5.6	9	12	R6.3	6	前期比	来期予想
業況※	△ 31.1	△ 28.9	△ 20.4	△ 23.6	△ 24.8	△ 1.2	△ 25.7
売上額	△ 15.8	△ 1.5	△ 3.9	△ 24.4	△ 10.0	14.4	△ 6.2
収益	△ 25.3	△ 19.5	△ 11.0	△ 26.2	△ 15.1	11.1	△ 13.2
販売・請負価格	20.0	23.9	26.4	19.0	24.6	5.6	20.4
仕入・材料価格	61.9	59.0	54.3	51.9	56.9	5.0	49.6
在庫	△ 1.7	△ 1.2	1.7	△ 1.1	5.6	6.7	△ 1.1
資金繰り	△ 15.6	△ 17.2	△ 13.9	△ 21.1	△ 14.2	6.9	△ 14.2
前年同期比売上額	△ 10.8	△ 10.4	△ 15.0	△ 23.1	△ 12.4	10.7	-
前年同期比収益	△ 20.2	△ 25.2	△ 27.1	△ 22.6	△ 13.3	9.3	-
残業時間	△ 11.7	△ 8.5	△ 6.7	△ 8.6	△ 10.9	△ 2.3	0.0
人手	△ 26.7	△ 27.2	△ 28.4	△ 28.9	△ 28.2	0.7	△ 30.6
借入実施割合 (%)	18.0	20.9	19.8	20.0	16.8	△ 3.2	18.6

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成17年9月期の△3.5、最低値：令和2年6月期の△64.1

- 福知山・綾部地区の今期の業況判断D.I.は、前期比1.2ポイント低下の△24.8となりました。
- 売上額判断D.I.は、同14.4ポイント上昇の△10.0となりました。
- 収益判断D.I.は、同11.1ポイント上昇の△15.1となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比0.9ポイント低下の△25.7とやや悪化する見通しです。



■ 福知山・綾部地区：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	47.6 (①48.6)	経費の節減	46.7 (①52.9)
人手不足	31.4 (②32.7)	販路の拡張	37.1 (②33.2)
原材料高	29.0 (③25.0)	人材の確保	34.8 (③31.7)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

4. 特別調査

「中小企業における災害等への対応について」

問1 貴社では、普段どのような災害を意識していますか。1～0の中から3つまで選んでお答えください。

普段意識している災害

単位：先

	丹後	舞鶴	福知山・綾部	全地区
1 地震	129	62	114	305
2 火災	89	62	94	245
3 風・水害（台風・ゲリラ豪雨など）	130	97	149	376
4 雪害	32	33	31	96
5 上記以外の自然災害	12	4	8	24
6 コロナなどの感染症	46	43	54	143
7 犯罪行為（大規模テロなど）	1	0	0	1
8 国際紛争	6	2	6	14
9 その他	2	0	4	6
0 あまり意識していない	14	18	11	43
回答者数	194	139	210	543

単位：%

1 地震	66.5	44.6	54.3	56.2
2 火災	45.9	44.6	44.8	45.1
3 風・水害（台風・ゲリラ豪雨など）	67.0	69.8	71.0	69.2
4 雪害	16.5	23.7	14.8	17.7
5 上記以外の自然災害	6.2	2.9	3.8	4.4
6 コロナなどの感染症	23.7	30.9	25.7	26.3
7 犯罪行為（大規模テロなど）	0.5	0.0	0.0	0.2
8 国際紛争	3.1	1.4	2.9	2.6
9 その他	1.0	0.0	1.9	1.1
0 あまり意識していない	7.2	12.9	5.2	7.9

※ 複数回答のため、回答者数で構成比を算出しています。

問2 貴社では、自社の現在の災害への備えについてどのように評価していますか。1～4の中から選んでください。また、実際に災害にあった際、自社のそれまでの備えについてどう感じましたか。5～9の中から選んでお答えください。

災害への備えの評価と実際

単位：先

	丹後	舞鶴	福知山・綾部	全地区
現在の災害への備えの自己評価	195	137	207	539
1 できている	4	9	13	26
2 どちらかというとできている	78	46	85	209
3 どちらかというとできていない	85	66	83	234
4 できていない	28	16	26	70
実際に災害にあった際に自社の備えをどう感じたか	181	132	193	506
5 できていた	1	5	12	18
6 どちらかというとできていた	46	32	46	124
7 どちらかというとできていなかった	38	30	47	115
8 できていなかった	17	8	30	55
9 災害にあったことがない	79	57	58	194

単位：%

	100.0	100.0	100.0	100.0
現在の災害への備えの自己評価	100.0	100.0	100.0	100.0
1 できている	2.1	6.6	6.3	4.8
2 どちらかというとできている	40.0	33.6	41.1	38.8
3 どちらかというとできていない	43.6	48.2	40.1	43.4
4 できていない	14.4	11.7	12.6	13.0
実際に災害にあった際に自社の備えをどう感じたか	100.0	100.0	100.0	100.0
5 できていた	0.6	3.8	6.2	3.6
6 どちらかというとできていた	25.4	24.2	23.8	24.5
7 どちらかというとできていなかった	21.0	22.7	24.4	22.7
8 できていなかった	9.4	6.1	15.5	10.9
9 災害にあったことがない	43.6	43.2	30.1	38.3

問3 貴社では、事業継続にかかる保険、具体的には財産補償（設備や店舗が損壊した時の補償）や休業補償（休業を余儀なくされた時の損害の補償）に加入されていますか。加入している方はその内容について1～3の中から、加入していない方はその理由について最も当てはまるものを4～8の中から選んでください。わからない方は9を選んでください。

事業継続にかかる保険（財産補償や休業補償）の加入状況

単位：先

	丹後	舞鶴	福知山・綾部	全地区
加入している（その内容）	144	110	156	410
1 財産補償、休業補償の両方に加入	48	40	61	149
2 財産補償のみ加入	90	65	88	243
3 休業補償のみ加入	6	5	7	18
加入していない（その理由）	33	21	33	87
4 保険料が高い	10	7	12	29
5 補償内容が狭い	4	3	4	11
6 災害保険についてよくわからない	15	6	15	36
7 保険金額が低い	0	1	0	1
8 自社には必要ない（災害時の損失額が低いなど）	4	4	2	10
9 災害保険に加入しているかどうかわからない	14	5	10	29
合計	191	136	199	526

単位：%

	丹後	舞鶴	福知山・綾部	全地区
加入している（その内容）	75.4	80.9	78.4	77.9
1 財産補償、休業補償の両方に加入	25.1	29.4	30.7	28.3
2 財産補償のみ加入	47.1	47.8	44.2	46.2
3 休業補償のみ加入	3.1	3.7	3.5	3.4
加入していない（その理由）	17.3	15.4	16.6	16.5
4 保険料が高い	5.2	5.1	6.0	5.5
5 補償内容が狭い	2.1	2.2	2.0	2.1
6 災害保険についてよくわからない	7.9	4.4	7.5	6.8
7 保険金額が低い	0.0	0.7	0.0	0.2
8 自社には必要ない（災害時の損失額が低いなど）	2.1	2.9	1.0	1.9
9 災害保険に加入しているかどうかわからない	7.3	3.7	5.0	5.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

問4 貴社では、使用している建物の耐震について、どのように考えていますか。1～5の中から選んでお答えください。また、自社所在地周辺のハザードマップ（洪水や土砂災害、地震・津波など）を確認していますか。状況について最も当てはまるものを6～9の中から選んでお答えください。

建物の耐震状況とハザードマップの確認状況

単位：先

	丹後	舞鶴	福知山・綾部	全地区
建物の耐震について	193	138	205	536
1 できている	30	27	39	96
2 どちらかというとできている	52	40	60	152
3 どちらかというとできていない	48	34	41	123
4 できていない	37	23	35	95
5 わからない	26	14	30	70
ハザードマップの確認について	184	138	202	524
6 確認して、大きな問題はなかった	81	72	85	238
7 確認して問題があり、対策を取った	6	7	18	31
8 確認して問題があったが、対策は取っていない	42	16	43	101
9 確認していない	55	43	56	154

単位：%

	100.0	100.0	100.0	100.0
建物の耐震について	100.0	100.0	100.0	100.0
1 できている	15.5	19.6	19.0	17.9
2 どちらかというとできている	26.9	29.0	29.3	28.4
3 どちらかというとできていない	24.9	24.6	20.0	22.9
4 できていない	19.2	16.7	17.1	17.7
5 わからない	13.5	10.1	14.6	13.1
ハザードマップの確認について	100.0	100.0	100.0	100.0
6 確認して、大きな問題はなかった	44.0	52.2	42.1	45.4
7 確認して問題があり、対策を取った	3.3	5.1	8.9	5.9
8 確認して問題があったが、対策は取っていない	22.8	11.6	21.3	19.3
9 確認していない	29.9	31.2	27.7	29.4

問5 災害時への対応として、一定程度の現預金を保有しておくことがBCP策定基準などで推奨されています。貴社では、通常、現預金をどの程度保有していますか。現預金の保有が最も少ない時期（売掛金の回収直前など）を想定したうえで、1～6の中からお答えください。また、貴社では、自治体や信用保証協会、政府系金融機関などの公的団体から、災害対策金融支援（災害復旧貸付やセーフティネット保証4号など）を受けたことがありますか。7～0の中からお答えください。

現預金の保有状況と災害対策金融支援の受給状況

単位：先

	丹後	舞鶴	福知山・綾部	全地区
現預金の保有状況	194	137	202	533
1 売上の3か月以上	51	26	56	133
2 売上の1～3か月分	67	47	62	176
3 売上の2週間分～1か月分	27	13	25	65
4 売上の2週間未満	12	15	9	36
5 ほとんど保有していない	24	17	25	66
6 把握していない	13	19	25	57
災害対策金融支援	189	136	202	527
7 コロナ禍の時に受けたことがある	96	61	106	263
8 自然災害の時に受けたことがある	3	0	4	7
9 コロナ禍、自然災害の両方で受けたことがある	3	3	7	13
0 受けたことがない	87	72	85	244

単位：%

	100.0	100.0	100.0	100.0
現預金の保有状況	100.0	100.0	100.0	100.0
1 売上の3か月以上	26.3	19.0	27.7	25.0
2 売上の1～3か月分	34.5	34.3	30.7	33.0
3 売上の2週間分～1か月分	13.9	9.5	12.4	12.2
4 売上の2週間未満	6.2	10.9	4.5	6.8
5 ほとんど保有していない	12.4	12.4	12.4	12.4
6 把握していない	6.7	13.9	12.4	10.7
災害対策金融支援	100.0	100.0	100.0	100.0
7 コロナ禍の時に受けたことがある	50.8	44.9	52.5	49.9
8 自然災害の時に受けたことがある	1.6	0.0	2.0	1.3
9 コロナ禍、自然災害の両方で受けたことがある	1.6	2.2	3.5	2.5
0 受けたことがない	46.0	52.9	42.1	46.3

(問い合わせ先) 京都北都信用金庫 経営企画部 経営企画課
 〒626-0041 京都府宮津市宇鶴賀2054-1
 TEL: 0772-22-5121 (代表)
 FAX: 0772-22-7941
 URL: <http://www.hokuto-shinkin.co.jp/>

※ 単位未満四捨五入のため、内訳と合計が一致しない場合があります。

※ ほくとしんきん中小企業景況レポートの内容は著作権法により保護されていますので、引用・転載・複製等を無断で行うことはご遠慮ください。

求人募集賃金・求職者希望賃金情報

京都労働局

令和6年4月分

(単位:円)

		常 用			常 用 的 パ ー ト		
		求人募集賃金		求職者	求人募集賃金		求職者
		上限平均	下限平均	希望賃金	上限平均	下限平均	希望賃金
合 計		280,522	215,816	229,990	1,268	1,144	1,157
職 業 別	管理的職業従事者	357,442	254,815	296,250	1,050	1,010	1,327
	専門的・技術的職業従事者	310,890	229,258	258,851	1,597	1,378	1,677
	事務従事者	238,109	196,671	211,894	1,221	1,100	1,087
	販売従事者	281,039	225,073	249,604	1,143	1,067	1,069
	サービス職業従事者	251,840	205,817	213,176	1,242	1,109	1,066
	保安職業従事者	227,948	199,681	190,476	1,228	1,120	1,041
	農林漁業従事者	288,276	206,133	211,176	1,211	1,139	1,063
	生産工程従事者	278,845	204,525	212,569	1,180	1,080	1,059
	輸送・機械運転従事者	292,734	237,119	250,558	1,266	1,170	1,101
	建設・採掘従事者	357,202	228,753	279,836	1,693	1,387	1,370
	運搬・清掃・包装等従事者	258,701	211,485	207,351	1,130	1,078	1,031
年 齢 別	24歳以下	278,870	215,221	206,909	1,268	1,144	1,040
	25～34歳	279,279	215,373	224,002	1,269	1,144	1,360
	35～44歳	281,653	216,063	237,958	1,269	1,144	1,132
	45～54歳	285,450	217,533	232,466	1,269	1,144	1,111
	55歳以上	278,035	215,198	235,746	1,265	1,143	1,153

- (注) 1 令和5年4月以降分の職種は、平成21年12月改定の「日本標準職業分類」に基づく。
- 2 「求人募集賃金」は、1か月間に受理した求人賃金(「常用」については基本給＋定期的に支払われる手当、時間外手当含まず。「常用的パート」については基本給。)の平均値です。
- 3 「求職者希望賃金」は、1か月間に新たに求職申込をした人の希望賃金の平均値です。

求人募集賃金・求職者希望賃金情報

ハローワーク南部5所

(京都西陣所、京都七条所、伏見所、宇治所、京都田辺所)

令和6年4月分

(単位:円)

		常 用			常 用 的 パ ー ト		
		求人募集賃金		求職者	求人募集賃金		求職者
		上限平均	下限平均	希望賃金	上限平均	下限平均	希望賃金
合 計		281,801	217,946	232,761	1,278	1,152	1,181
職 業 別	管理的職業従事者	382,289	268,158	296,250	1,050	1,010	1,373
	専門的・技術的職業従事者	310,399	231,533	262,178	1,624	1,394	1,737
	事務従事者	238,167	197,414	211,431	1,230	1,103	1,094
	販売従事者	280,502	226,497	255,328	1,157	1,079	1,085
	サービス職業従事者	255,719	208,933	217,500	1,240	1,113	1,076
	保安職業従事者	227,343	201,740	194,706	1,232	1,129	1,057
	農林漁業従事者	306,107	207,285	217,600	1,228	1,151	1,067
	生産工程従事者	284,273	207,203	215,846	1,201	1,089	1,077
	輸送・機械運転従事者	292,952	238,461	253,585	1,278	1,184	1,114
	建設・採掘従事者	370,244	235,357	280,870	1,757	1,423	1,399
	運搬・清掃・包装等従事者	262,663	213,689	208,584	1,132	1,080	1,037
年 齢 別	24歳以下	279,837	217,311	212,456	1,279	1,152	1,049
	25～34歳	280,512	217,415	228,721	1,278	1,152	1,452
	35～44歳	283,217	218,320	242,721	1,279	1,152	1,158
	45～54歳	287,145	219,805	235,643	1,279	1,152	1,128
	55歳以上	279,121	217,227	237,866	1,273	1,150	1,173

(注) 1 令和5年4月以降分の職種は、平成21年12月改定の「日本標準職業分類」に基づく。

2 「求人募集賃金」は、1か月間に受理した求人賃金(「常用」については基本給+定期的に支払われる手当、時間外手当含まず。「常用的パート」については基本給。)の平均値です。

3 「求職者希望賃金」は、1か月間に新たに求職申込をした人の希望賃金の平均値です。

求人募集賃金・求職者希望賃金情報

ハローワーク北部3所
(福知山所、舞鶴所、峰山所)

令和6年4月分

(単位:円)

		常 用			常 用 的 パ ー ト		
		求人募集賃金		求職者	求人募集賃金		求職者
		上限平均	下限平均	希望賃金	上限平均	下限平均	希望賃金
合 計		274,189	205,267	211,297	1,218	1,105	1,034
職 業 別	管理的職業従事者	290,000	218,600	—	—	—	1,008
	専門的・技術的職業従事者	313,359	217,810	226,163	1,444	1,285	1,169
	事務従事者	237,677	191,174	216,443	1,143	1,068	1,038
	販売従事者	284,627	215,567	195,517	1,103	1,033	998
	サービス職業従事者	232,541	190,310	187,377	1,248	1,093	1,018
	保安職業従事者	231,109	188,912	172,500	1,205	1,068	974
	農林漁業従事者	239,877	203,004	193,333	1,079	1,048	1,036
	生産工程従事者	255,930	193,223	202,667	1,082	1,038	1,010
	輸送・機械運転従事者	291,779	231,248	237,895	1,157	1,052	1,046
	建設・採掘従事者	322,254	211,057	276,667	1,305	1,172	1,104
	運搬・清掃・包装等従事者	240,827	201,547	201,837	1,117	1,067	1,011
年 齢 別	24歳以下	273,560	204,793	191,944	1,214	1,102	1,011
	25～34歳	273,498	205,027	202,248	1,219	1,104	1,016
	35～44歳	274,319	205,252	212,562	1,219	1,104	1,006
	45～54歳	277,474	206,875	212,230	1,217	1,104	1,017
	55歳以上	272,250	204,560	222,587	1,221	1,106	1,047

- (注) 1 令和5年4月以降分の職種は、平成21年12月改定の「日本標準職業分類」に基づく。
- 2 「求人募集賃金」は、1か月間に受理した求人賃金(「常用」については基本給＋定期的に支払われる手当、時間外手当含まず。「常用的パート」については基本給。)の平均値です。
- 3 「求職者希望賃金」は、1か月間に新たに求職申込をした人の希望賃金の平均値です。

求人募集賃金・求職者希望賃金情報

京都労働局

令和5年4月分

(単位:円)

		常 用			常 用 的 パ ー ト		
		求人募集賃金		求職者	求人募集賃金		求職者
		上限平均	下限平均	希望賃金	上限平均	下限平均	希望賃金
合 計		274,664	208,366	230,143	1,265	1,145	1,093
職 業 別	管理的職業従事者	307,647	239,039	297,941	1,175	1,160	2,094
	専門的・技術的職業従事者	302,997	223,326	267,353	1,569	1,356	1,448
	事務従事者	235,392	191,566	208,906	1,150	1,036	1,031
	販売従事者	285,340	214,498	249,226	1,850	1,751	1,031
	サービス職業従事者	247,751	199,755	223,930	1,177	1,058	1,027
	保安職業従事者	213,138	190,430	177,353	1,110	1,029	1,000
	農林漁業従事者	292,293	206,521	225,556	1,194	1,075	986
	生産工程従事者	274,121	196,530	213,402	1,114	1,014	1,017
	輸送・機械運転従事者	274,922	221,929	262,961	1,167	1,081	1,026
	建設・採掘従事者	345,681	221,808	264,928	1,687	1,263	1,033
	運搬・清掃・包装等従事者	243,694	202,308	206,225	1,083	1,027	984
年 齢 別	24歳以下	273,920	208,238	200,216	1,265	1,143	1,004
	25～34歳	274,124	208,336	223,014	1,266	1,144	1,083
	35～44歳	275,913	208,766	252,410	1,266	1,144	1,101
	45～54歳	277,637	209,248	236,704	1,266	1,144	1,095
	55歳以上	271,615	207,059	226,375	1,262	1,147	1,098

- (注) 1 令和5年4月以降分の職種は、平成21年12月改定の「日本標準職業分類」に基づく。
- 2 「求人募集賃金」は、1か月間に受理した求人賃金(「常用」については基本給＋定期的に支払われる手当、時間外手当含まず。「常用的パート」については基本給。)の平均値です。
- 3 「求職者希望賃金」は、1か月間に新たに求職申込をした人の希望賃金の平均値です。

求人募集賃金・求職者希望賃金情報

ハローワーク南部5所

(京都西陣所、京都七条所、伏見所、宇治所、京都田辺所)

令和5年4月分

(単位:円)

		常 用			常 用 的 パ ー ト		
		求人募集賃金		求職者	求人募集賃金		求職者
		上限平均	下限平均	希望賃金	上限平均	下限平均	希望賃金
合 計		274,920	209,596	234,402	1,285	1,162	1,105
職 業 別	管理的職業従事者	306,807	244,739	297,941	1,175	1,160	2,207
	専門的・技術的職業従事者	300,525	223,725	271,066	1,583	1,368	1,449
	事務従事者	235,092	192,265	212,194	1,159	1,039	1,038
	販売従事者	286,985	216,795	251,308	2,110	1,997	1,041
	サービス職業従事者	249,959	201,842	230,495	1,180	1,063	1,034
	保安職業従事者	211,879	191,566	176,061	1,089	1,031	1,009
	農林漁業従事者	306,501	209,947	220,952	1,251	1,107	984
	生産工程従事者	279,184	198,495	216,680	1,128	1,020	1,034
	輸送・機械運転従事者	272,762	221,114	267,899	1,160	1,076	1,027
	建設・採掘従事者	354,020	225,431	274,828	1,752	1,289	1,046
	運搬・清掃・包装等従事者	245,699	203,956	209,528	1,089	1,030	987
年 齢 別	24歳以下	274,137	209,509	202,299	1,285	1,160	1,012
	25～34歳	274,437	209,562	228,411	1,286	1,160	1,102
	35～44歳	276,373	210,012	260,343	1,286	1,161	1,129
	45～54歳	277,843	210,477	242,026	1,286	1,161	1,116
	55歳以上	271,639	208,215	230,885	1,281	1,165	1,107

(注) 1 令和5年4月以降分の職種は、平成21年12月改定の「日本標準職業分類」に基づく。

2 「求人募集賃金」は、1か月間に受理した求人賃金(「常用」については基本給+定期的に支払われる手当、時間外手当含まず。「常用的パート」については基本給。)の平均値です。

3 「求職者希望賃金」は、1か月間に新たに求職申込をした人の希望賃金の平均値です。

求人募集賃金・求職者希望賃金情報

ハローワーク北部3所
(福知山所、舞鶴所、峰山所)

令和5年4月分

(単位:円)

		常 用			常 用 的 パ ー ト		
		求人募集賃金		求職者	求人募集賃金		求職者
		上限平均	下限平均	希望賃金	上限平均	下限平均	希望賃金
合 計		273,374	202,183	199,188	1,154	1,052	1,027
職 業 別	管理的職業従事者	310,000	223,080	—	—	—	968
	専門的・技術的職業従事者	317,661	220,959	226,000	1,472	1,270	1,439
	事務従事者	237,359	186,981	173,971	1,091	1,014	987
	販売従事者	278,543	205,008	204,667	1,058	998	966
	サービス職業従事者	233,356	186,155	187,727	1,157	1,033	981
	保安職業従事者	220,305	183,961	220,000	1,172	1,020	961
	農林漁業従事者	219,473	188,963	241,667	1,031	983	992
	生産工程従事者	254,711	189,001	203,977	1,035	984	976
	輸送・機械運転従事者	284,409	225,510	246,341	1,219	1,117	1,022
	建設・採掘従事者	322,042	211,538	212,727	968	968	910
	運搬・清掃・包装等従事者	233,127	193,628	187,297	1,047	1,008	971
年 齢 別	24歳以下	272,601	202,090	192,623	1,152	1,051	979
	25～34歳	272,959	202,247	195,360	1,155	1,052	1,026
	35～44歳	273,384	202,341	205,217	1,153	1,052	990
	45～54歳	276,407	203,104	204,848	1,153	1,052	995
	55歳以上	271,796	200,880	194,568	1,153	1,051	1,049

- (注) 1 令和5年4月以降分の職種は、平成21年12月改定の「日本標準職業分類」に基づく。
- 2 「求人募集賃金」は、1か月間に受理した求人賃金(「常用」については基本給+定期的に支払われる手当、時間外手当含まず。「常用的パート」については基本給。)の平均値です。
- 3 「求職者希望賃金」は、1か月間に新たに求職申込をした人の希望賃金の平均値です。

最近の県内景況

回復のペースが鈍化しつつある

概況

国内景気はこのところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。県内景況をみると、個人消費において価格選好が強まっており「回復のペースが鈍化しつつある」と判断を据え置いた。物価、賃上げ、ボーナス支給動向にともなう個人消費の変化に注視が必要である。

生産 4月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、103.8(前月比1.8%上昇)と前月を上回った。

個人消費(小売商況・自動車) 6月の小売商況は、休日が2日多かったことや梅雨で県外でのレジャーを避けた顧客が県内のショッピングモールなどに向かったことから、全体の売上げは前年を上回って推移した。家電はエアコン、冷蔵庫、理美容健康器具が堅調であり前年を上回った。自動車販売は、一部メーカーの影響で登録台数(含む軽)は前年比10.3%減の1,813台となった。

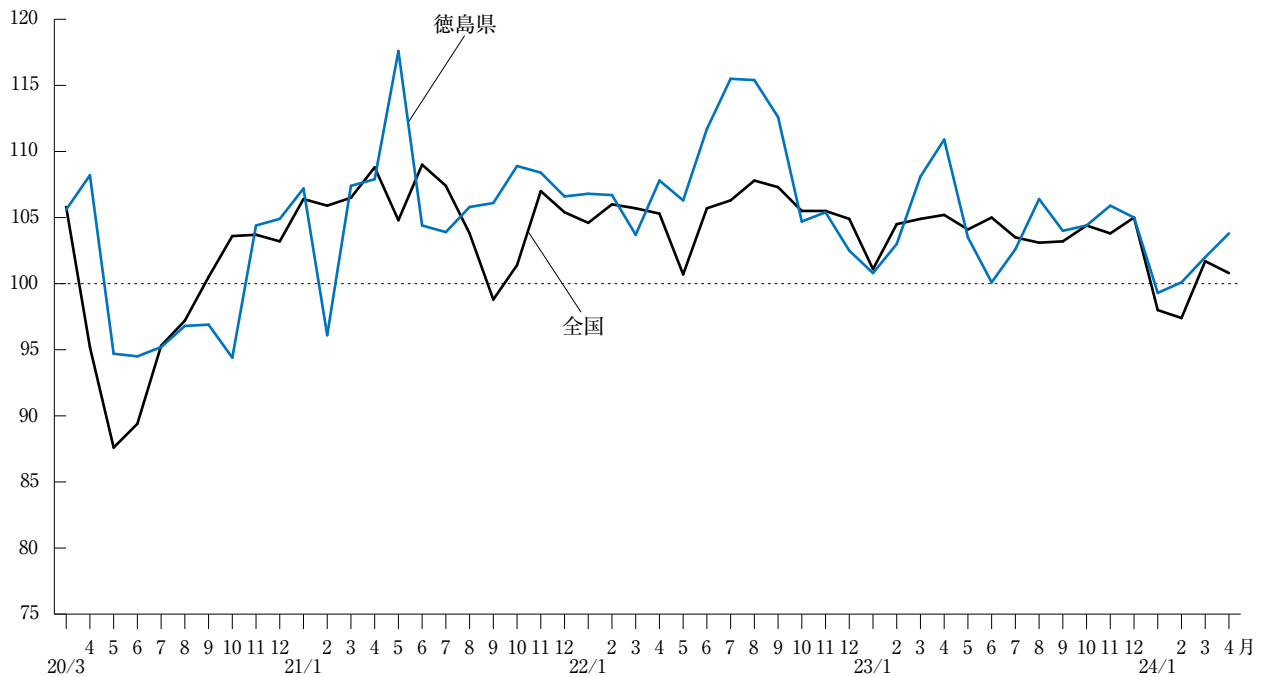
旅行・宿泊 6月の国内旅行は、沖縄など遠方への旅行を中心に取扱高はコロナ禍前と同程度にて推移した。海外旅行はクルーズ旅行などレジャー目的による需要が増加し、取扱高はコロナ禍前を上回って推移した。宿泊はビジネス、観光ともに需要が鈍く、稼働率、客室単価は旅行支援の特需があった前年を下回って推移した。

住宅投資 5月の新設住宅着工戸数(総戸数)は、前年比18.9%減の197戸となった。(2024年1～5月の総戸数累計は、前年同期比6.7%減の1,023戸となった。)

公共工事 6月の請負件数は、前年比5.4%減、請負金額は同19.7%減となった。(2024年4～6月の請負金額累計は、前年同期比0.9%減の454億62百万円となった。)

雇用情勢 5月の有効求人倍率(季節調整済)は、1.16倍で前月比0.01ポイント低下した。

鉱工業生産指数（徳島県、全国）



(2020年 = 100 季節調整済指数)

徳島県（4月）

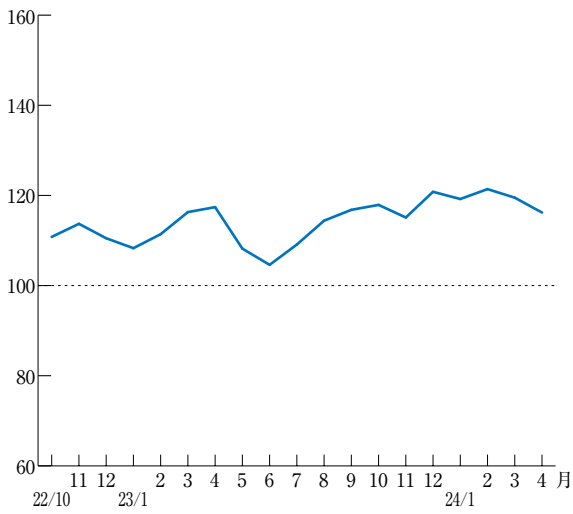
徳島県の4月（速報値）の鉱工業生産指数は、103.8（季節調整済）で前月比1.8%上昇、原指数は109.0で前年比5.7%低下となった。

季節調整済指数の内訳をみると、前月比で上昇したのは全15業種のうち7業種で、鉄鋼（60.7%）、電気機械（16.2%）、窯業・土石製品（13.6%）など。一方、低下した業種は、繊維（20.8%）、はん用・生産用・業務用機械（18.1%）、化学（2.8%）など。

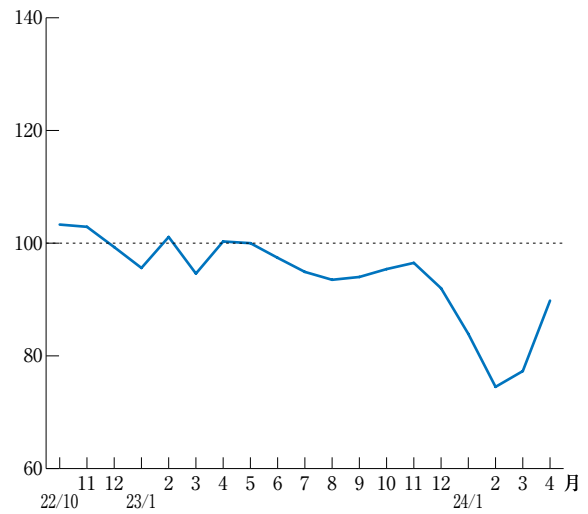
原指数の内訳をみると、前年比で上昇したのは全15業種のうち4業種で、はん用・生産用・業務用機械（11.3%）、窯業・土石製品（10.7%）、プラスチック製品（3.3%）など。一方、低下した業種は、金属製品（56.8%）、繊維（31.0%）、電気機械（7.9%）、化学（2.0%）など。

業種別鉱工業生産指数 (カッコ内数字は、全体を 10,000 としたウエイト) (2020年=100 季節調整済指数)

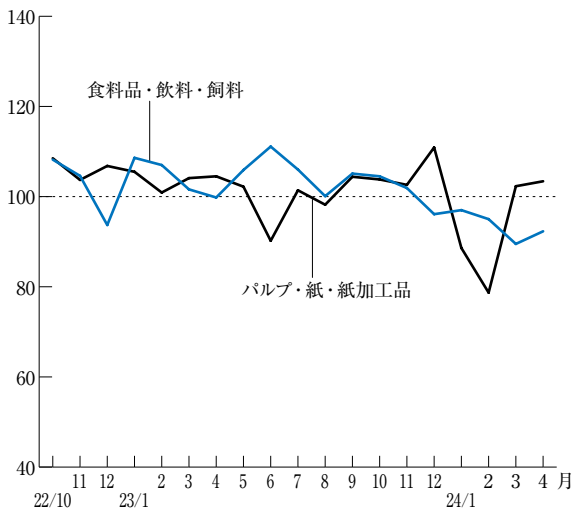
化学 (4,332.7)



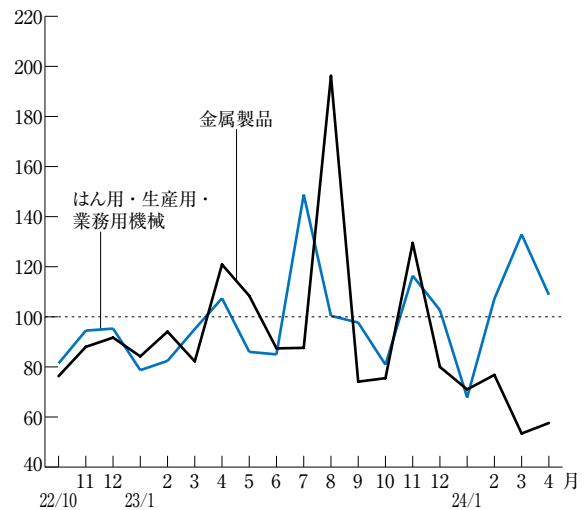
電気機械 (2,153.6)



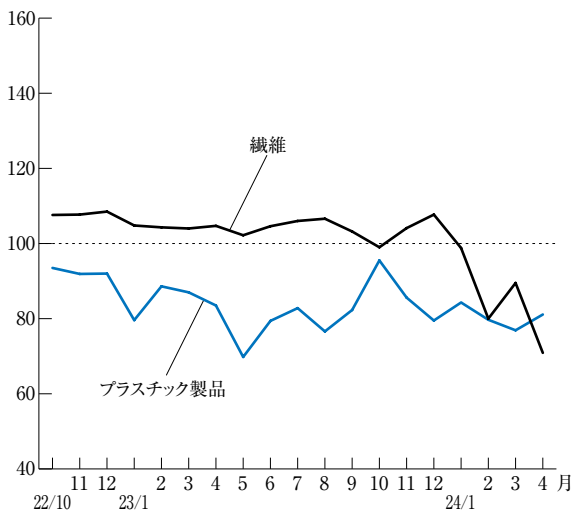
食料品・飲料・飼料 (620.1)
パルプ・紙・紙加工品 (577.7)



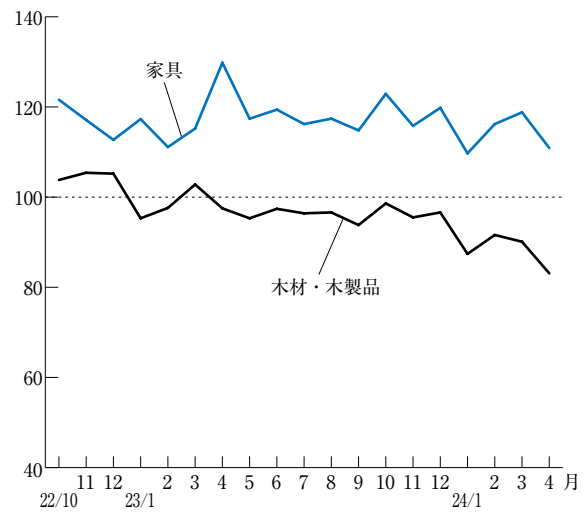
はん用・生産用・業務用機械 (473.5)
金属製品 (395.7)



プラスチック製品 (346.7)、繊維 (65.6)

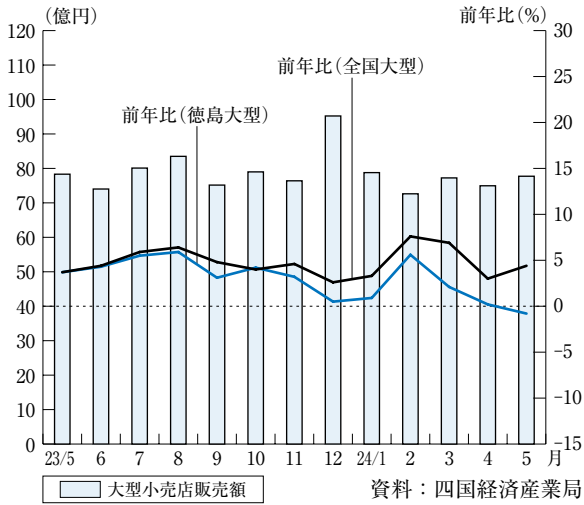


木材・木製品 (172.1)、家具 (197.4)



資料：徳島県統計課

大型小売店・専門量販店販売額



資料：四国経済産業局

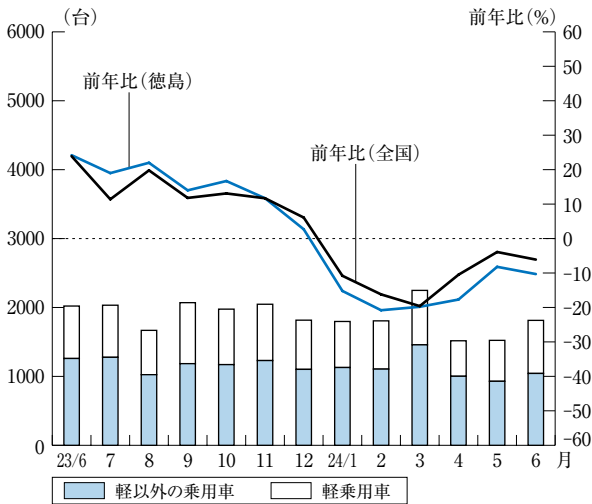
6月の小売商況は、休日が2日多いことや梅雨で県外でのレジャーを避けた顧客が県内のショッピングモールなどに向かったことから、全体の売上げは前年を上回って推移した。なお、定額減税の効果はあまり感じられないとの意見が多かった。

品目別にみると、衣料品は気温が上昇した後半にかけて夏物衣料や肌着が動いた。身の回り品・雑貨は化粧品、UV関連商品、暑さ・梅雨対策商品の販売が増加した。サービス関連は堅調だった。飲食店ではアイスやかき氷などの冷たいメニューが特に動いた。家電はテレビ、洗濯機が減少したものの、エアコン、冷蔵庫、理

美容健康器具が堅調であり、総じて前年を上回った。食料品は野菜や豚肉の高値が続いており、買い上げ点数を絞る形でのメリハリ消費がみられた。単価の上昇により売上げは前年を上回って推移している。

7月以降は、気温の上昇で季節商品や化粧品に動きがみられている。

自動車販売



資料：自動車販売店協会・軽自動車協会

6月の自動車販売は、一部メーカーの影響で登録台数(含む軽)は前年比10.3%減の1,813台となった。

内訳をみると、普通車(3ナンバー)は701台で前年比15.6%減、中小型車・大衆車は342台で同20.3%減となり、登録車合計は1,043台で同17.2%減となった。また、軽自動車は770台で同1.2%増であった。

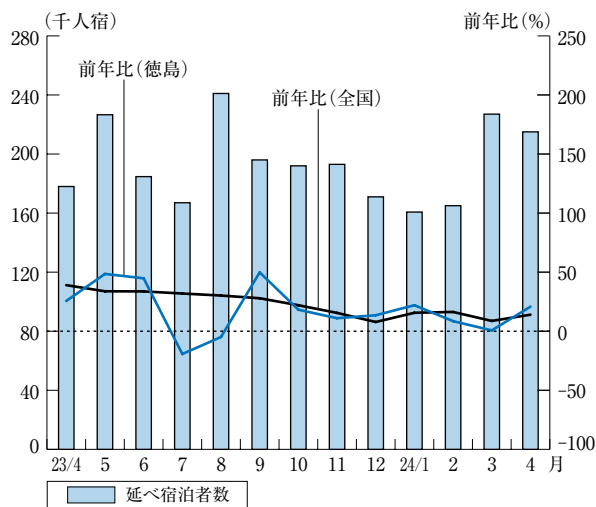
(2024年1～6月の登録台数(含む軽)累計は、前年同期比15.9%減の10,704台となった。)

旅行業

6月の旅行需要をみると、国内旅行は沖縄など遠方への旅行を中心に取扱高はコロナ禍前と同程度にて推移した。海外旅行はクルーズ旅行などレジャー目的による需要が増加し、取扱高はコロナ禍前を上回って推移した。国内・海外ともに旅行単価は高止まりしている。

7月以降については、国内旅行はテーマパークに加えて信州方面の避暑地への旅行需要もみられ、予約は増加している。海外旅行はヨーロッパやハワイへの旅行を中心に予約が増加している。

ホテル・旅館



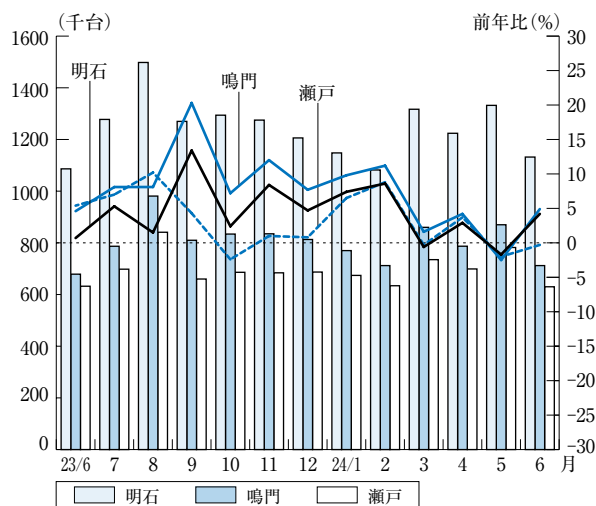
資料：国土交通省「宿泊旅行統計」
(全宿泊施設)

6月の徳島市内の主要ホテル・旅館業をみると、ビジネス、観光ともに需要が鈍く、稼働率、客室単価は旅行支援の特需があった前年を下回って推移した。インバウンドはアジア圏からの来県を中心に堅調に推移している。宴会・飲食部門は、株主総会などで企業の利用が増えた一方、朝食利用は宿泊需要の動きに伴って低調に推移した。

7月は、ビジネス・観光需要が回復しつつあり、香港チャーター便によるインバウンド需要もみられるが、全体として稼働率、客室単価は前年をやや下回って推移している。

宿泊旅行統計【全宿泊施設】をみると、4月の徳島県の延べ宿泊者数（第2次速報）は215千人泊で、前年比20.8%増（全国平均は同14.0%増）となった。

本州四国連絡道路交通量

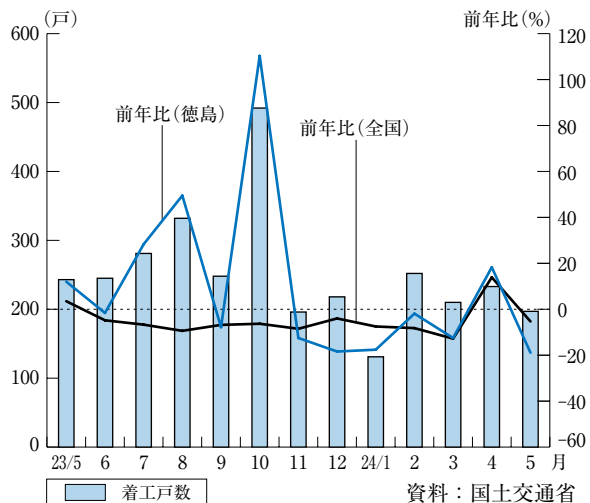


資料：本州四国連絡高速道路

6月の本州四国連絡道路の交通量をみると、明石海峡大橋は前年比4.2%増、大鳴門橋は同4.9%増、瀬戸大橋は同0.3%減となった。

(2024年4月～6月の交通量累計は、明石海峡大橋、大鳴門橋、瀬戸大橋の順に、前年比1.6%増、1.9%増、0.4%増となった。)

住宅投資



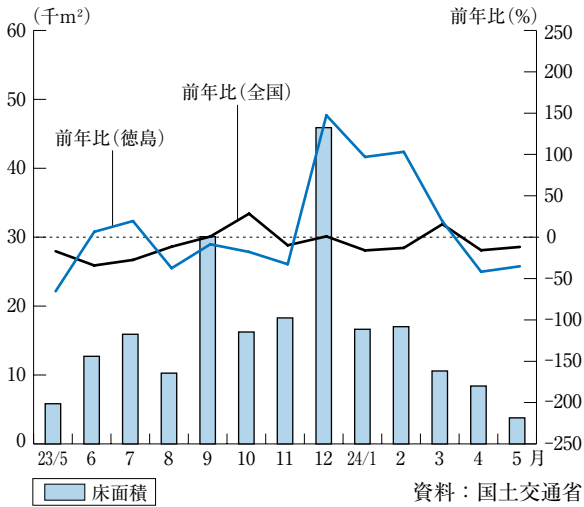
資料：国土交通省

5月の新設住宅着工戸数をみると、総戸数は前年比18.9%減の197戸となった。

利用関係別では、持家は前年比16.3%減の118戸、貸家は同18.7%減の61戸、分譲は同30.8%減の18戸であった。総床面積は18,743㎡で、同16.2%減少した。

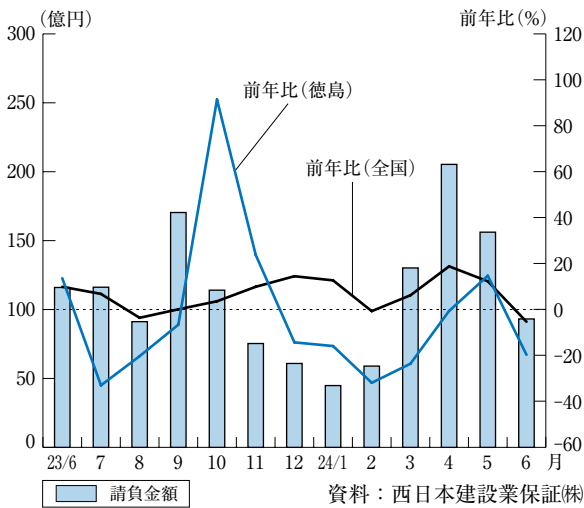
(2024年1～5月の総戸数累計は、前年同期比6.7%減の1,023戸となった。)

非居住用建築着工床面積



5月の非居住用建築着工床面積（店舗、工場等）は、前年比35.2%減の3,778㎡で、工事費予定額は同42.2%減の8億62百万円となった。

公共工事

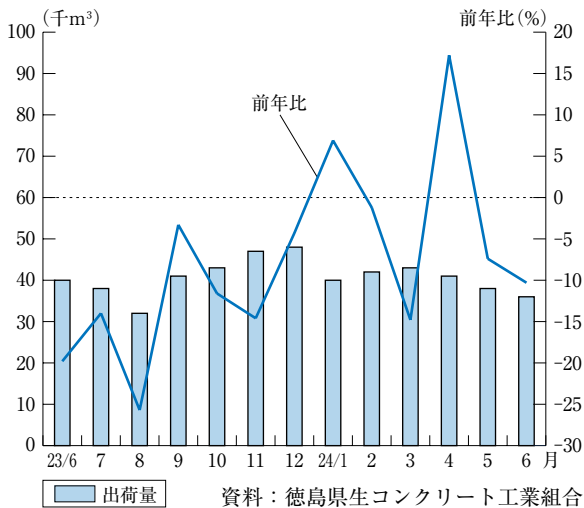


6月の公共工事（西日本建設業保証徳島支店調べ）をみると、請負件数は、前年比5.4%減の280件、請負金額は同19.7%減の93億17百万円となった。

発注者別にみると、「市町村」は43億75百万円で同28.0%減、「県」は25億97百万円で前年比6.5%増、「国」は17億23百万円で同43.2%減、「独立行政法人等」は4億49百万円で同798.4%増となった。

(2024年4～6月の請負金額累計は、前年同期比0.9%減の454億62百万円となった。)

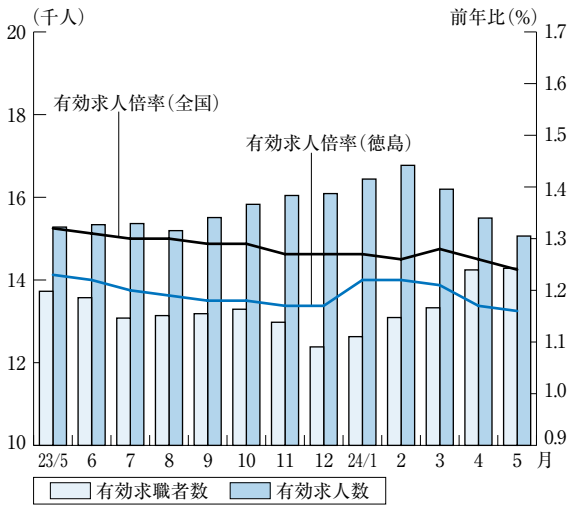
生コン出荷量



6月の生コン出荷量（徳島県生コンクリート工業組合出荷速報）は36千立方メートル、前年比10.3%減となった。

民需は5千立方メートルで前年比49.3%減、官公需は31千立方メートルで同2.6%増となった。

雇用関連 (求人)



資料：徳島労働局

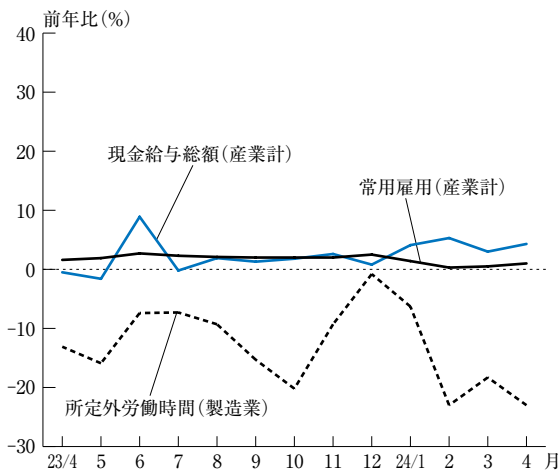
5月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.16倍で前月比0.01ポイント低下。原数値は、1.05倍で前年比0.06ポイント低下。有効求人数は15,063人で前年比1.4%減少、有効求職者数は14,283人で同4.1%増加した。

新規求人数(一般。パートを除く)は3,151人で前年比4.0%減少、パートの新規求人は2,031人で同4.8%増加した。

内訳をみると、医療・福祉、サービス業などで増加し、製造業、学術研究、専門技術サービス業、生活関連サービス、娯楽業などで減少した。

なお、5月の雇用保険受給者実人員数は前年比3.21%増(2ヵ月ぶり)となった。

雇用関連 (勤労統計)

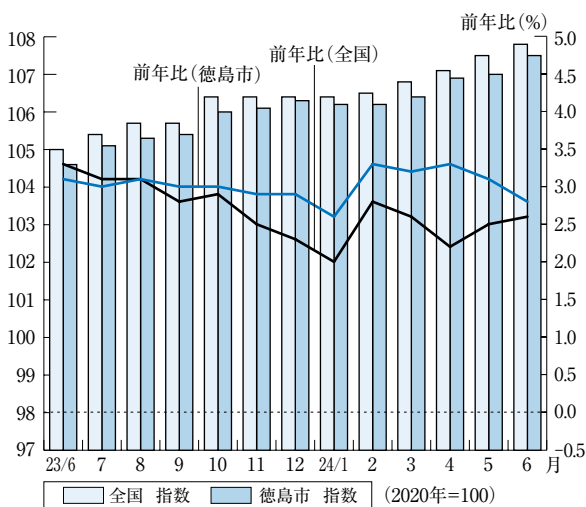


資料：徳島県統計課

4月の毎月勤労統計(5人以上の事業所)によれば、常用雇用指数(産業計)は104.3で前年比1.0%上昇、現金給与総額指数(産業計)は89.9で同4.3%上昇、所定外労働時間指数(製造業)は89.0で同23.0%低下となった。

(指数：2020年=100)

消費者物価指数 (徳島市)

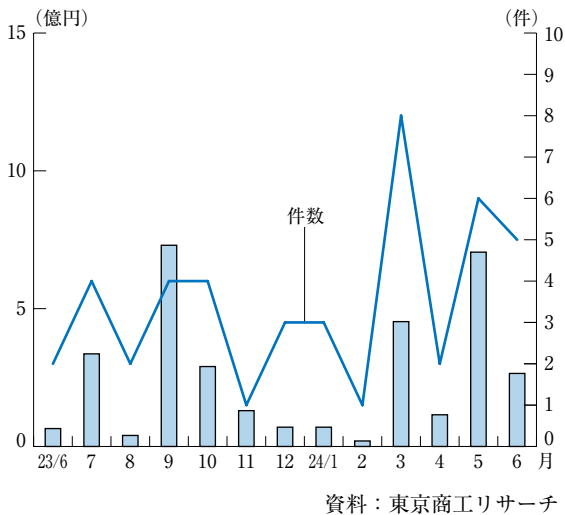


※「生鮮食品を除く総合」の数値をグラフ化
資料：総務省

6月の消費者物価指数は、107.7で前年比3.0%上昇(前月比0.2%上昇)、生鮮食品を除く総合は107.5で同2.8%上昇(同0.4%上昇)であった。

費目別にみると、前年比上昇した科目費目は、光熱・水道(6.5%)、食料(4.7%)、被服及び履物(3.3%)など。一方、低下した費目は教育(△0.6%)。(指数：2020年=100)

企業倒産

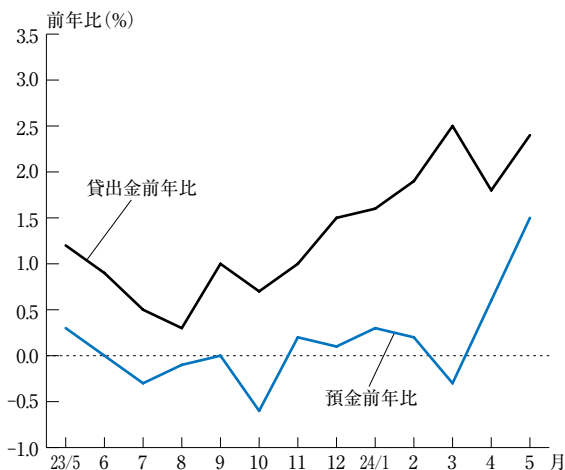


6月の企業倒産（東京商工リサーチ調べ、負債総額1千万円以上）をみると、5件で負債総額は2億65百万円であった。業種別では、サービス業他が各2件、建設業・小売業・情報通信業が各1件であった。

帝国データバンクの調査（負債総額1千万円以上、法的整理による倒産）では、4件で、負債総額は2億円であった。

（2024年1～6月の負債総額累計（東京商工リサーチ調べ、負債総額1千万円以上）は、前年同期比3.0%減の16億28百万円、負債件数累計は6件増の25件となった。）

金融

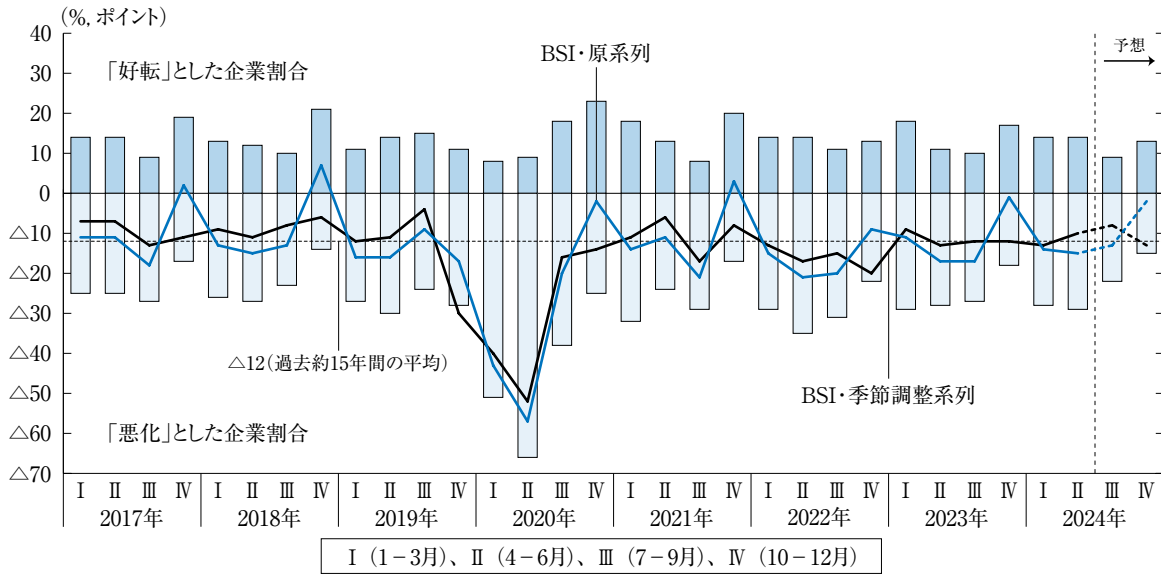


5月の民間金融機関貸出金残高は、日本銀行徳島事務所によると、全体では前年比2.4%増となり、107ヵ月連続で前年を上回った。（4月末の貸出約定平均金利1.041%→5月末1.040%、国内銀行ベース）。

預金については、前年比1.5%増となった。

※預金、貸出金の対前年増減率について、2021年4月以降は国内銀行（ゆうちょ銀行を除く）の県内店舗および県内に本店を置く信用金庫の全店舗の合計額をもとに算出しており、2021年3月以前とは連続しない。資料：日本銀行

業況判断BSI (徳島経済研究所調査)

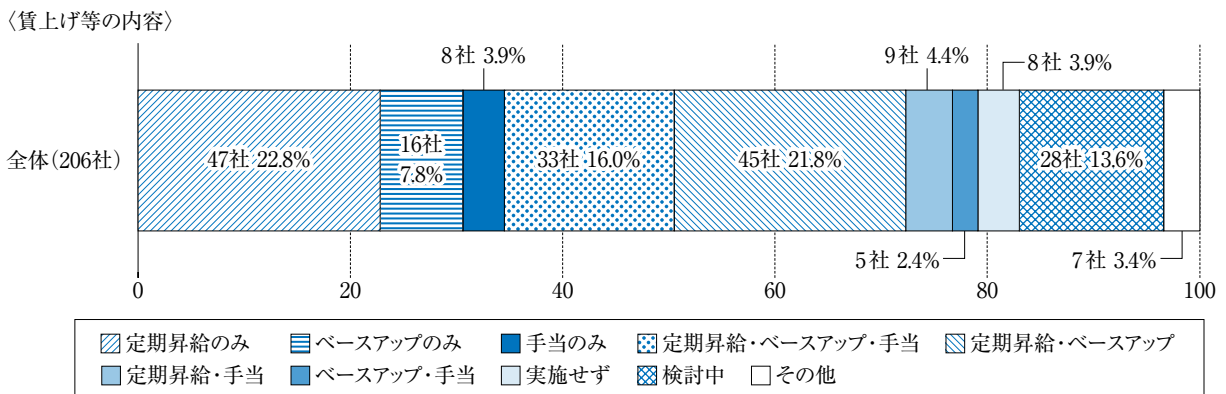


県内企業の景況感を示す業況判断BSI (季節調整済) は、2024年4～6月期は△10で、2024年1～3月期 (△13) から横ばいであった。業種別では、製造業 (△19→△26) は悪化し、非製造業 (△10→△5) は改善した。なお、売上げBSI (3→3)、収益BSI (△9→△10) は横ばいであった。先行き2024年7～9月期予想は△8で横ばい、10～12月期予想は△13へ悪化する見通し。

※ BSI (Business Survey Index)…業況が「好転(増加)」と回答した企業割合から「悪化(減少)」と回答した企業割合を引いた数値。
 ※153回調査より対象企業を拡大。152回調査以前より中小企業が占める割合が高くなっているため比較には注意が必要。

県内企業賃上げ動向 (同)

ベースアップを実施する企業の比率は48.1% (前年同調査比+6.3ポイント) とやや上昇



今回の調査では、ベースアップを実施する企業の比率はやや上昇した。もっとも、財務省の賃上げ全国調査 (4月22日公表) における中堅・中小企業での実施比率は63.1%であり、徳島県が全国を下回っている。

(詳細は弊所ホームページの2024年4月「県内企業の賃上げ等に関する調査結果」参照)
 ※調査期間：2024年3月1日～4月1日 対象企業：408社、回答企業：233社、回答率：57.1%

摘要 年月	徳島県鉱工業生産指数 2020年=100													
	鉱工業総合		金属製品		はん用・生産用・業務用機械		電気機械		化学		プラスチック製品		パルプ・紙・紙加工品	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
	10000	%	wt.395.7	%	wt.473.5	%	wt.2153.6	%	wt.4332.7	%	wt.346.7	%	wt.577.7	%
2020年	100.0	△ 6.2	100.0	△ 21.9	100.0	△ 23.6	100.0	△ 8.0	100.0	2.1	100.0	△ 16.5	100.0	△ 16.6
2021年	106.7	6.7	81.1	△ 18.9	111.3	11.3	114.8	14.8	106.6	6.6	107.6	7.6	102.3	2.3
2022年	108.1	1.3	101.0	24.5	102.3	△ 8.1	105.8	△ 7.8	113.1	6.1	96.0	△ 10.8	106.4	4.0
2023年	104.3	△ 3.5	102.4	1.4	98.1	△ 4.1	96.1	△ 9.2	113.6	0.4	82.4	△ 14.2	102.2	△ 3.9
2023.3	105.1	0.5	82.2	△ 42.2	95.1	31.0	94.6	△ 15.4	116.3	15.1	87.0	△ 6.0	104.1	△ 1.4
4	110.9	3.2	120.9	30.5	107.4	△ 7.8	100.3	△ 8.5	117.4	12.7	83.5	△ 13.1	104.5	△ 4.8
5	103.5	△ 2.4	108.4	20.0	86.0	△ 20.8	100.0	△ 0.2	108.2	△ 1.6	69.8	△ 32.6	102.2	△ 4.8
6	100.1	△ 11.1	87.4	△ 16.8	85.0	△ 16.8	97.4	△ 5.3	104.6	△ 15.3	79.4	△ 22.2	90.2	△ 10.2
7	102.5	△ 10.6	87.6	△ 49.0	148.8	60.4	94.9	△ 7.1	109.1	△ 14.2	82.8	△ 18.2	101.4	△ 7.0
8	106.4	△ 5.6	196.2	128.0	100.4	△ 5.7	93.5	△ 10.5	114.4	△ 8.3	76.6	△ 26.9	98.2	△ 12.2
9	104.0	△ 6.9	74.1	△ 9.5	97.7	△ 25.9	94.0	△ 11.1	116.8	△ 3.5	82.3	△ 16.1	104.4	△ 1.9
10	104.4	0.2	75.5	△ 15.8	80.9	△ 6.0	95.4	△ 5.7	117.9	6.9	95.5	6.6	103.8	△ 1.5
11	105.9	0.7	129.5	59.9	116.4	39.8	96.5	△ 4.5	115.1	0.4	85.6	△ 4.2	102.6	△ 2.4
12	105.0	1.3	80.0	△ 14.5	102.7	7.6	92.0	△ 9.5	120.8	10.4	79.5	△ 16.0	110.9	5.5
2024.1	99.3	△ 0.9	71.0	△ 20.2	67.8	△ 12.4	83.9	△ 10.7	119.2	10.2	84.3	8.3	88.6	△ 14.9
2	100.1	0.3	76.8	△ 16.0	107.2	43.6	74.5	△ 23.9	121.4	11.7	79.7	△ 4.7	78.7	△ 18.3
3	102.0	△ 4.2	53.4	△ 27.6	132.9	34.9	77.3	△ 21.2	119.5	2.6	76.9	△ 15.5	102.3	△ 4.2
4	103.8	△ 5.7	57.6	△ 56.8	108.8	11.3	89.8	△ 7.9	116.2	△ 2.0	81.1	3.3	103.4	2.5
5														
6														
資料出所	徳島県統計課													

(注) 鉱工業生産指数は季節調整済。前年比は原指数比較。年度は原指数。

摘要 年月	徳島県鉱工業生産指数						推計人口 (徳島県)		百貨店・スーパー販売額		専門量販店		コンビニエンスストア
	繊維		食料品・飲料飼料		木材・木製品		千人	人	百万円	%	ドラッグストア	ホームセンター	%
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比					前年比		
	wt.65.6	%	wt.620.1	%	wt.172.1	%	社会動態 (転入-転出)	前年比	前年比	前年比	前年比		
2020年	100.0	△ 10.1	100.0	△ 5.1	100.0	△ 13.3	718.1	△ 7,436	91,660	△ 0.7	6.8	11.8	△ 5.6
2021年	101.6	1.6	101.2	1.2	104.0	4.0	709.8	△ 8,350	86,659	△ 7.5	△ 0.7	△ 1.7	1.0
2022年	103.2	1.6	105.6	4.3	107.3	3.2	702.0	△ 7,824	90,124	4.0	5.8	0.6	2.6
2023年	104.2	1.0	103.7	△ 1.8	97.0	△ 9.6	693.1	△ 8,878	93,914	4.2	10.8	1.3	3.1
2023.3	104.0	2.5	101.6	△ 10.3	102.8	△ 5.5	700.2	△ 759	7,565	4.6	9.7	1.4	5.9
4	104.7	3.6	99.8	△ 5.6	97.5	△ 12.8	697.7	△ 2,452	7,485	5.8	10.8	5.8	5.1
5	102.2	△ 0.9	105.9	11.9	95.3	△ 11.4	697.6	△ 164	7,832	3.7	11.2	0.8	5.1
6	104.6	8.6	111.1	11.1	97.4	△ 11.8	697.0	△ 592	7,402	4.3	12.1	△ 0.2	1.7
7	106.0	5.2	106.0	2.3	96.4	△ 10.3	696.6	△ 424	8,010	5.5	15.2	6.2	2.3
8	106.6	3.4	100.1	△ 10.8	96.6	△ 6.5	696.1	△ 492	8,350	5.9	8.0	△ 1.3	2.5
9	103.2	△ 3.0	105.1	△ 2.7	93.8	△ 16.4	695.5	△ 611	7,516	3.1	13.3	2.0	4.3
10	99.0	△ 7.0	104.5	0.7	98.6	△ 1.7	694.8	△ 609	7,899	4.2	13.8	△ 2.2	1.7
11	104.1	△ 2.1	101.9	△ 2.2	95.5	△ 8.3	694.4	△ 472	7,640	3.2	13.8	2.8	1.4
12	107.7	0.1	96.1	△ 7.7	96.6	△ 8.4	693.7	△ 630	9,522	0.5	9.3	△ 2.3	0.3
2024.1	98.8	△ 4.4	97.0	△ 8.3	87.4	△ 6.7	693.1	△ 655	7,878	0.9	8.5	△ 0.6	0.8
2	80.0	△ 21.0	95.0	△ 8.7	91.6	△ 3.4	692.1	△ 956	7,263	5.6	12.6	1.9	3.7
3	89.5	△ 16.4	89.5	△ 16.3	90.1	△ 15.4	691.1	△ 1,056	7,724	2.1	8.8	0.5	△ 0.9
4	70.9	△ 31.0	92.3	△ 4.0	83.1	△ 12.8	688.4	△ 2,699	7,496	0.2	5.0	△ 3.7	△ 1.1
5							688.3	△ 30	7,773	△ 0.8	6.7	0.2	△ 0.6
6							687.8	△ 581					
資料出所	徳島県統計課						四国経済産業局						

(注) 推計人口は、年次は各年1月1日、月次は各月1日時点の数値。

(注) 「百貨店・スーパー販売額」の対前年比増減率は、2020年3月から、調査先の見直しに伴いギャップを調整するリンク係数で処理した数値で算出。

摘要 年月	新車登録車数		新車届出車数		新設住宅着工					公共工事保証請負		
	乗用車 台	前年比 %	軽乗用車 台	前年比 %	総数		持家	貸家	総面積 m ²	件数 件	金額 百万円	前年比 %
					総戸数 戸	前年比 %	前年比 %	前年比 %				
	台	%	台	%	戸	%	%	%	m ²	件	百万円	%
2020年	13,990	△ 13.0	9,996	△ 11.0	3,554	△ 13.8	△ 9.8	△ 37.2	350,420	4,171	148,069	11.3
2021年	13,223	△ 5.5	9,406	△ 5.9	3,044	△ 14.4	△ 1.1	△ 24.4	310,436	3,706	137,201	△ 7.3
2022年	11,916	△ 9.9	8,456	△ 10.1	2,718	△ 10.7	△ 9.9	△ 23.2	276,130	3,507	132,768	△ 3.2
2023年	14,634	22.8	9,701	14.7	3,108	14.3	△ 5.6	64.7	278,671	3,411	132,104	△ 0.5
2023.3	1,761	23.4	1,043	9.7	240	19.4	△ 2.1	29.2	24,582	229	17,032	16.7
4	1,107	24.8	736	9.5	197	△ 18.3	△ 9.8	△ 41.4	20,026	394	20,651	22.2
5	995	30.2	664	19.9	243	12.0	△ 6.6	120.6	22,366	246	13,616	62.2
6	1,260	38.0	761	6.6	245	△ 1.6	2.5	△ 3.2	23,783	296	11,600	13.6
7	1,277	28.3	756	5.9	281	28.3	4.4	187.5	24,274	293	11,620	△ 33.0
8	1,025	24.2	643	18.6	332	49.5	0.7	54.0	27,435	307	9,121	△ 20.3
9	1,185	7.6	885	23.8	248	△ 7.8	△ 12.5	0.0	21,324	487	17,074	△ 6.6
10	1,171	20.3	805	11.8	492	110.3	△ 10.2	385.7	34,978	338	11,406	91.4
11	1,230	18.4	817	2.9	196	△ 12.5	△ 32.3	81.1	17,522	286	7,534	23.8
12	1,102	5.3	714	△ 1.1	218	△ 18.4	△ 2.1	17.0	24,000	231	6,087	△ 14.3
2024.1	1,129	△ 7.5	668	△ 25.6	131	△ 17.6	△ 16.9	△ 26.3	13,538	147	4,483	△ 15.9
2	1,106	△ 15.0	700	△ 28.5	252	△ 1.9	△ 3.1	7.8	19,005	146	5,895	△ 31.9
3	1,458	△ 17.2	790	△ 24.3	210	△ 12.5	△ 22.0	138.7	18,657	240	13,017	△ 23.6
4	1,002	△ 9.5	515	△ 30.0	233	18.3	△ 21.0	188.2	21,515	437	20,531	△ 0.6
5	929	△ 6.6	594	△ 10.5	197	△ 18.9	△ 16.3	△ 18.7	18,743	237	15,614	14.7
6	1,043	△ 17.2	770	1.2						280	9,317	△ 19.7
資料出所	自動車販売店協会		軽自動車協会		国土交通省					西日本建設保証(株)		

(注) 公共工事保証は年度。

摘要 年月	消費者物価指数 (総合、徳島市)		家計消費支出(勤労者) (徳島市)		小売物価 ガソリン(徳島市)		雇用市場					
	生鮮食品を 除く総合	前年比 %	消費支出 円	前年比 %	価格 (円/L)	前年比 %	有効求職者数		有効求人人数		有効求人倍率	
							人	%	人	%	倍	ポイント
	2020年=100	%	円	%	(円/L)	%	人	%	人	%	倍	ポイント
2020年	100.0	△ 0.3	309,361	△ 4.6	128.0	△ 9.9	12,689	8.0	14,063	△ 17.5	1.11	△ 0.34
2021年	99.9	△ 0.1	346,633	12.0	149.0	16.4	12,614	△ 0.6	15,501	10.2	1.23	0.12
2022年	101.8	1.8	308,936	△ 10.9	168.0	12.8	12,966	2.8	16,343	5.4	1.26	0.03
2023年	104.6	2.8	322,417	4.4	168.0	0.0	13,184	1.7	15,831	△ 3.1	1.20	△ 0.06
2023.3	103.1	2.2	293,097	△ 25.4	160.0	△ 5.9	13,559	3.2	16,599	△ 2.2	1.21	△ 0.07
4	103.4	2.3	305,368	△ 10.1	167.0	△ 1.8	13,801	0.9	15,913	△ 0.8	1.23	△ 0.02
5	103.8	2.6	376,928	6.3	162.0	△ 3.0	13,727	0.1	15,280	△ 3.4	1.23	△ 0.04
6	104.6	3.1	257,666	△ 6.5	165.0	△ 2.9	13,572	△ 0.4	15,338	△ 1.0	1.22	△ 0.01
7	105.1	3.0	270,689	3.6	169.0	△ 3.4	13,079	0.6	15,365	△ 6.1	1.20	△ 0.09
8	105.3	3.1	302,308	16.1	181.0	6.5	13,139	1.3	15,194	△ 6.0	1.19	△ 0.09
9	105.4	3.0	396,216	39.5	180.0	5.3	13,185	2.2	15,510	△ 5.7	1.18	△ 0.09
10	106.0	3.0	319,431	16.8	173.0	3.0	13,293	5.3	15,830	△ 3.3	1.18	△ 0.11
11	106.1	2.9	269,277	△ 16.4	169.0	3.0	12,978	4.5	16,044	△ 5.3	1.17	△ 0.13
12	106.3	2.9	300,769	△ 20.7	171.0	6.2	12,382	4.4	16,090	△ 4.0	1.17	△ 0.11
2024.1	106.2	2.6	268,410	△ 17.9	169.0	2.4	12,630	1.6	16,441	△ 1.0	1.22	△ 0.04
2	106.2	3.3	275,360	△ 38.9	166.0	3.8	13,092	2.2	16,773	1.7	1.22	△ 0.01
3	106.4	3.2	297,752	1.6	168.0	5.0	13,328	△ 1.7	16,196	△ 2.4	1.21	0.00
4	106.9	3.3	341,615	11.9	173.0	3.6	14,244	3.3	15,498	△ 2.6	1.17	△ 0.06
5	107.0	3.1	369,119	△ 2.1	173.0	6.8	14,283	4.1	15,063	△ 1.4	1.16	△ 0.06
6	107.5	2.8			173.0	4.8						
資料出所	総務省					徳島労働局職業安定課						

(注) 家計消費支出は、二人以上の世帯のうち勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の一世帯あたり平均。

(注) 有効求職者数、有効求人人数、有効求人倍率は年度平均。

(注) 有効求人倍率は季節調整値、同前年比は原指数による。

摘要 年月	常用雇用指数 (産業計)		所定外労働時間指数 (製造業)		現金給与総額指数 (産業計)		延べ宿泊者数 (全宿泊施設)		外国人延べ宿泊者数 (全宿泊施設)		本州四国連絡 道路交通量	
	2020年 =100	前年比 %	2020年 =100	前年比 %	2020年 =100	前年比 %	千人泊	前年比	千人泊	前年比	大鳴門橋 千台	前年比 %
2020年	100.0	2.0	100.0	△ 16.8	100.0	0.4	1,448.8	△ 43.6	20.0	△ 85.0	6,775	△ 28.6
2021年	102.8	2.8	115.8	15.8	104.3	4.3	1,599.6	10.4	9.6	△ 51.9	7,364	8.7
2022年	102.0	△ 0.8	119.7	3.4	100.9	△ 3.3	1,842.2	15.2	18.1	88.4	8,930	21.3
2023年	104.2	2.2	106.0	△ 11.4	102.1	1.2	2,259.0	22.6	129.3	612.8	9,730	9.0
2023. 3	102.9	2.2	118.3	△ 12.9	86.8	0.6	225.1	62.2	12.3	2,765.1	846	23.0
4	103.4	1.9	115.6	△ 13.1	85.3	△ 0.5	178.0	25.6	15.0	1,878.9	755	9.8
5	103.8	1.9	97.2	△ 15.9	84.6	△ 1.6	226.6	48.5	10.7	786.0	893	9.3
6	104.2	2.7	102.8	△ 7.4	138.6	8.9	184.7	44.8	8.1	678.8	679	4.6
7	105.0	2.3	104.6	△ 7.3	125.3	△ 0.2	167.4	△ 19.3	10.9	855.3	787	8.1
8	104.7	2.1	98.2	△ 9.3	88.0	1.9	240.9	△ 4.9	11.3	1,449.3	981	8.1
9	104.1	2.0	97.2	△ 15.3	85.6	1.3	196.3	49.8	10.6	1,028.7	811	20.3
10	104.8	2.0	101.8	△ 20.2	85.4	1.8	191.8	18.2	16.8	557.3	834	7.2
11	104.8	2.0	107.3	△ 9.3	87.0	2.6	192.6	11.0	17.0	269.5	835	12.0
12	105.3	2.5	113.8	△ 0.8	194.3	0.8	171.4	13.5	8.5	97.2	813	7.7
2024. 1	105.0	1.4	94.5	△ 6.3	85.8	4.1	160.7	22.0	6.4	66.1	770	9.8
2	103.7	0.3	86.2	△ 23.0	87.3	5.3	165.4	8.5	8.8	104.2	712	11.2
3	103.3	0.5	94.5	△ 18.3	89.9	3.0	226.7	0.7	19.6	59.4	860	1.6
4	104.3	1.0	89.0	△ 23.0	89.9	4.3	215.1	20.8	16.9	12.2	787	4.2
5											870	△ 2.5
6											712	4.9
資料出所	徳島県統計課						国土交通省				本州四国連絡高速道路	

(注) 常用雇用は、5人以上の事業所。
 (注) 所定外労働時間、現金給与総額は、5人以上の事業所。
 (注) 延べ宿泊者数、外国人延べ宿泊者数は、2022.12までは確定値、2023.1以降は第2次速報値。
 (注) 本州四国連絡道路交通量は年度。

摘要 年月	航空輸送状況(国内線)				金融関連			企業倒産			信用保証協会代位弁済		
	旅客		貨物		実質預金	貸出金	貸出約定 平均金利	件数	金額	前年比	件数	金額	前年比
	旅客数 人	前年比 %	貨物量 トン	前年比 %	前年比 %	前年比 %	前年比 %	件	百万円	%	件	百万円	%
2020年	259,876	△ 77.1	746	△ 67.7	6.7	5.2	1.163	50	10,953	71.1	235	2,212	10.8
2021年	397,599	53.0	841	12.7	3.2	2.7	1.116	27	6,214	△ 43.3	133	1,472	△ 33.5
2022年	839,629	111.2	972	15.4	0.5	2.2	1.074	32	7,344	18.2	137	934	63.4
2023年	1,054,468	25.6	1,080	11.2	0.1	1.5	1.040	37	3,278	△ 55.4	190	1,662	78.1
2023. 3	90,894	115.0	69	8.2	1.6	1.9	1.072	2	80	△ 96.7	13	57	77.3
4	73,296	59.4	99	24.1	0.7	1.9	1.067	3	140	68.7	14	45	△ 46.2
5	96,881	59.2	70	12.5	0.3	1.2	1.062	5	605	△ 43.8	16	91	△ 50.9
6	91,754	63.9	102	30.6	△ 0.0	0.9	1.058	2	65	550.0	14	285	102.3
7	82,037	27.4	110	8.2	△ 0.3	0.5	1.054	4	336	△ 64.3	20	246	154.1
8	105,001	30.4	119	35.6	△ 0.1	0.3	1.053	2	40	△ 84.7	24	194	4,860.3
9	81,003	31.1	89	8.7	△ 0.0	1.0	1.050	4	730	702.2	13	41	△ 27.8
10	90,917	18.8	76	△ 7.1	△ 0.6	0.7	1.049	4	293	337.3	13	109	629.0
11	99,870	15.6	83	1.3	0.2	1.0	1.045	1	130	△ 89.3	14	123	△ 10.2
12	88,117	7.8	100	△ 4.4	0.1	1.5	1.040	3	70	600.0	9	83	8.3
2024. 1	72,073	9.6	69	△ 14.7	0.3	1.6	1.039	3	70	△ 85.7	7	38	△ 9.2
2	77,814	12.5	80	31.3	0.2	1.9	1.035	1	20	△ 93.3	27	264	562.6
3	95,705	5.3	83	19.4	△ 0.3	2.5	1.040	8	453	466.3	19	144	151.5
4	75,802	3.4	84	△ 15.6	0.6	1.8	1,041	2	115	△ 17.9	27	244	445.5
5	89,052	△ 8.1	68	△ 3.1	1.5	2.4	1,040	6	705	16.5	28	222	145.3
6								5	265	307.7	32	249	△ 12.6
資料出所	国土交通省 大阪航空局				日本銀行			東京商工リサーチ			徳島県信用保証協会		

(注) 航空輸送状況は年度。2021.3までは確定値、2022.4以降は速報値。
 (注) 実質預金(資金化していない手形、小切手等を差引いたもの)・貸出金残高の2021年4月以降の計数は、国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)の県内店舗および県内に本店を置く信用金庫の全店舗の合計額。
 (注) 実質預金、貸出金残高及び貸出約定平均金利は、年・月末。
 (注) 貸出約定平均金利は、県内に本店を置く地域銀行および信用金庫の全店舗を対象とした貸出約定平均金利を集計したもの。
 2020年1月の徳島大正銀行の発足に伴い、徳島県の2020年1月以降の計数は、2019年12月以前とは連続しない。
 (注) 保証協会代位弁済は年度。

県の人材確保政策に基づく
『最低賃金全国平均までの引き上げ』に向けた再要請

本県では、県勢の持続的な発展のため、人材確保戦略を重要な政策課題として位置付け、ワークライフバランスの推進、持続的な賃上げ、そして最低賃金の全国平均への引き上げ等を積極的に推進しているところです。

しかしながら、本県は全国で2番目に最低賃金が低い県であり、この状況は県民、特に若者の将来に対する不安感を増幅させていると認識しており、近隣県との人材確保競争においても、最低賃金の低さは大きなハンディキャップとなっております。

この状況を打開し、本県が活力に満ち、持続可能な県として発展していくためには、今回の徳島地方最低賃金審議会における委員各位のご決断が極めて重要であると考えております。

全国下位の最低賃金水準を回避し、未来を担う若者が希望を持てるよう、次の点につき、改めて強く要請いたします。

- ・ 今年度の最低賃金改定の審議は、今後の人材確保に大きな影響を与えることを十分考慮した議論を行うこと
- ・ パートタイム労働者の求人募集における平均時給と最低賃金には約150円の差があることを踏まえた議論を行うこと
- ・ 改定後の最低賃金については、1,050円程度を目指すこと

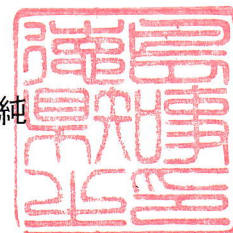
このたび決定される最低賃金は、全国、そして徳島県民が注目しており、県においては、事業者における賃上げの取組を積極的に支援して参ります。

本県の未来を担う人材を確保し、活力ある地域社会を築き上げるため、委員各位のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和6年8月8日

徳島地方最低賃金審議会会長 段野 聡子 様

徳島県知事 後藤田 正純



最低賃金改定に関する要請書

本県の持続的な経済成長のためには、県内企業の生産性向上を図り、その成長を働く人に分配することで、賃金の上昇、消費の拡大という好循環を生み出すことが重要であります。

しかしながら、現在の本県最低賃金額は896円であり、令和4年度の最低賃金から過去最大の41円引き上げられたものの、全国的にみると下から2番目の順位となっており、全国加重平均額の1,004円と比べ依然として格差が生じております。

こうした中、去る7月25日に開催された、国の中央最低賃金審議会において、今年度の地域別最低賃金額改定の目安を、全国一律で過去最大の引上げとなる50円とする答申が取りまとめられたところで

最低賃金は、少子高齢化の進行や都市部への人口流出が続く本県にとって、人材確保対策の観点からも非常に重要であり、他県との人材獲得競争を勝ち抜くには、さらなる賃金水準の向上が不可欠であると考えております。

つきましては、最低賃金額の決定に当たっては、目安額を上回る積極的な引上げが行われるよう、十分な御議論を賜るようお願いいたします。

令和6年8月8日

徳島地方最低賃金審議会会長 段野 聡子 様

徳島県議会				
徳島県議会自由民主党	会長	嘉	見	博之
自由民主党県民会議	会長	井	川	龍二
新しい県政を創る会	会長	仁	木	啓人
グローバルplus	会長	浪	越	憲一
公明党徳島県議団	会長	古	川	広志
日本共産党		達	田	良子
護民官		扶	川	敦
元気とくしま		岡	田	晋
日本維新の会		曾	根	大志
川友会		川	真田	琢巳

最低賃金改定に関する要請書

歴史的な円安と物価高は、市民生活や地域経済に大きな影響を及ぼしています。こうしたなか、地域が持続的な経済成長を実現するためには、企業の生産性向上及び労務費等の適切な価格転嫁を図り、その成長を労働者に分配することで、賃金の上昇、消費の拡大という好循環を生み出すことが重要です。

また、地域経済活動の維持・向上に不可欠である労働力の確保は、若者の人口流出が続く市町村にとって深刻な問題であり、都市部との賃金格差の是正が課題となっております。

一方で、現時点における本県の最低賃金は896円であり、全国的には下から2番目、西日本では最下位となっており、全国の加重平均額1,004円と比べて、「100円以上の格差」があります。

先月25日には、国の中央最低賃金審議会において、最低賃金の引き上げの目安額を「全国一律・過去最高の50円」とする答申がなされ、現在、地方最低賃金審議会において、最低賃金の改定に向けた検討が進められています。

昨年度には、多くの地域で国の目安額を上回って最低賃金が決定され、人材獲得に向けた動きが広がりつつあります。

つきましては、今年度の最低賃金の改定にあたっては、他県の動きを注視しつつ、目安額を上回る積極的な引き上げが行われるよう、十分な御議論をお願い申し上げます。

令和6年8月8日

徳島地方最低賃金審議会会長 段野 聡子 殿

徳島県市長会

会長 遠藤 彰良

